

第36回日本道路会議 プログラム

— 2025.11.6(木)～11.7(金) —

公益社団法人 日本道路協会

目 次

参加者の皆様へ	2
第 36 回日本道路会議会場案内	3
会場図	4
タイムテーブル	5
第 36 回日本道路会議プログラム	6
基調講演・パネルディスカッション	8
「2050 年カーボンニュートラルに向けた道路の脱炭素化の推進 ～道路法改正を踏まえた道路の脱炭素化のあり方～」	
基調講演・パネルディスカッション	9
「持続可能なインフラマネジメントの実現 ～インフラ老朽化への対応～」	
基調講演・パネルディスカッション	10
「旅行速度に着目した道路のサービスレベル向上の実装に向けて」	
基調講演・パネルディスカッション	11
「自動物流・自動運転社会の実現」	
基調講演・パネルディスカッション	12
「防災・減災、国土強靱化の在り方 ～災害から国民の命と暮らしを守る～」	
パネルディスカッション	13
「つながるクルマと道路 ～世界の潮流から探る協調 ITS の現在と将来～」	
一般論文・事例報告発表 目次	14
論文・事例報告の概要と主要課題	15
一般論文・事例報告 口頭発表	21
(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門	22
(2) 道路管理・道路構造物マネジメント部門	33
(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門	37
(3)-2 建設・施工技術（土工）部門	65
(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門	72
(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門	82
一般論文・事例報告 ポスターセッション	87

第 36 回日本道路会議

令和 7 年 11 月 6 日（木）～ 11 月 7 日（金）

会場：都市センターホテル

参加者の皆様へ

1. 受付について

11 月 6 日（ 9 時 00 分～ 12 時 00 分）：3 階 コスモスホール前
（12 時 00 分～）：6 階 601 号室前
11 月 7 日（ 9 時 00 分～）：6 階 601 号室前

2. コピーサービスについて

会場内では、コピーサービス等を行っておりませんので、必要論文等は事前に印刷して、ご持参下さい。

3. 事務局

6 階 603 号室

4. プログラムについて

＊ A3 判のタイムテーブルに沿って、2 日間、各プログラムを開催します。

①口頭発表：各部門ごとに論文・事例報告発表

※発表会場には各セッションの開始 10 分前には入室し、セッション中の離席はご遠慮下さい。

1 論文・事例報告の発表時間＝発表 12 分（質疑応答は含まない）

②ポスターセッション：2 日間にわたり個別対応による質疑応答

・ 6 日 13 時 00 分～ 16 時 30 分（うち発表者との質疑応答時間：13:00～14:30）

【計画・環境・安全・情報・マネジメント部門、道路管理・構造マネジメント部門、建設・施工技術（土工）部門、建設・施工技術（橋梁）部門、建設・施工技術（トンネル）部門】

・ 7 日 9 時 30 分～ 13 時 00 分（うち発表者との質疑応答時間：9:30～11:00）

【建設・施工技術（舗装）部門】

5. 会議終了後の質問受付について、

一般論文・事例報告に対する質問を専用サイト上で下記の期間受け付けます。発表者の方は、質問があった場合には回答作成にご協力をお願いします。なお、質疑応答は、可能な限り会議当日の各論文発表時に行っていただくようお願いします。

【受付期間：令和 7 年 11 月 7 日 20 時から同月 14 日 20 時まで】

6. アンケートについて

会議終了後 WEB アンケートにご協力下さい。

7. その他注意事項

- ①会議室内での携帯電話の使用はご遠慮下さい。
- ②会場内にクロークはございません。
- ③貴重品はお預かりしませんので、各自管理願います。

※プログラムに掲載されているタイトル・所属は、発表登録時のデータで統一しておりますのでご了承下さい。

第 36 回日本道路会議 会場案内

都市センターホテル

TOSHI CENTER HOTEL

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2 - 4 - 1

TEL 03-3265-8211 (代表)

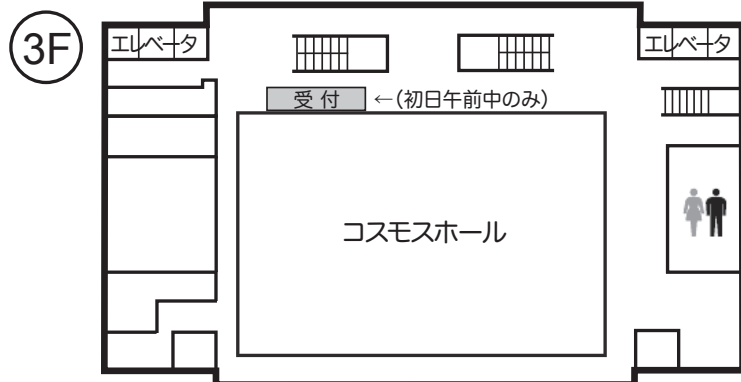
<https://www.rihga.co.jp/toshicenter/>



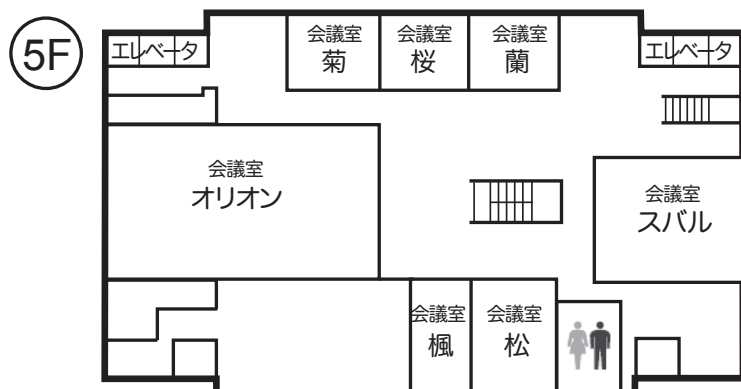
交通機関

- ・ 東京メトロ 有楽町線、「麹町駅」半蔵門方面1番出口より徒歩4分
- ・ 東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線、「永田町駅」9b番出口より徒歩3分
- ・ 東京メトロ 丸の内線・銀座線、「赤坂見附駅」D出口より徒歩8分
- ・ JR 中央線、「四ツ谷駅」麹町出口より徒歩14分

会場図

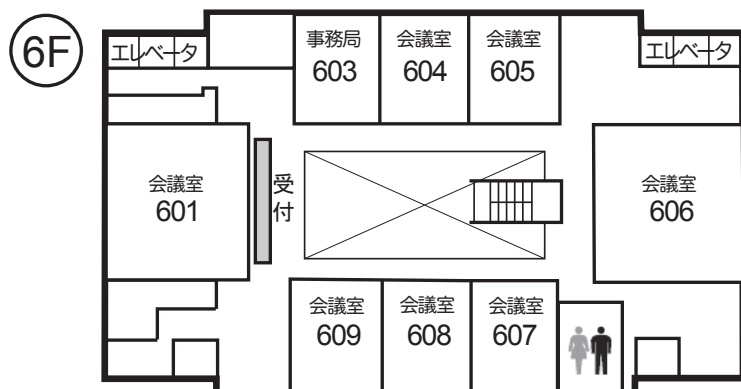


コスモスホール (1) (2)
 開会
 総括基調講演
 基調講演
 パネルディスカッション
 表彰式



オリオン ポスターセッション
 企業展示ブース

スバル 舗装部門
 土工部門
 集中討議セッション
 橋梁部門
 集中討議セッション



601 舗装部門
 集中討議セッション

603 事務局

604 舗装部門

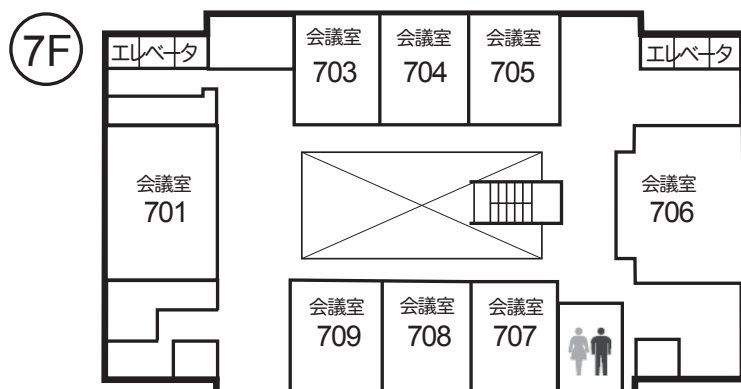
605 舗装部門

606 舗装部門

607 舗装部門
 橋梁部門

608 橋梁部門

609 トンネル部門



701 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門
 集中討議セッション

703 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

704 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門
 舗装部門

705 舗装部門

706 舗装部門

707 道路管理・道路構造物マネジメント部門
 集中討議セッション
 舗装部門

708 舗装部門
 土工部門
 橋梁部門

709 土工部門

第36回日本道路会議 タイムテーブル

階	会場	11月6日(木)								11月7日(金)											
		午 前				午 後				午 前				午 後							
3		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
	コスモス① コスモス②	開 会 換 拶	総括基調講演				持続可能なインフラマネジメントの 実現～インフラ老朽化への対応～				表彰式				自動物流・自動運転社会の実現		防災・減災、国土強靱化の在り方 ～災害から国民の命と暮らしを守る～		表彰式		
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00										つながるクルマと道路～世界の潮流から 探る協調ITSの現在と将来～ 共催:ITS-TEA		
5		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
	オリオン				企業展示ブース						企業展示ブース										
	スバル				ポスターセッション(計画、道路管理、土工、橋梁、トンネル部門)				個別対応		自由見学				個別対応		自由見学				
6		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
	一般論文発表 口頭発表・集中討議 セッション・ポスター セッション	601	建設・施工技術(舗装)		【集中討議】 新・舗装の構造に関する技術基準～ 基準改定、舗装が目指す将来像～		【集中討議】舗装メンテナンスの 新たなプラットフォーム構築 ～異分野連携WGからの提言～		優 秀 賞 ・ 奨 励 賞 掲 示	③舗装の長寿命化 ・国土強靱化 橋梁舗装技術・防水	②環境に配慮した舗 装 プラント技術・ 環境配慮技術	橋梁⑥ 非破壊検査	【集中討議】 道路標示方書・ 同解説の改定			優 秀 賞 ・ 奨 励 賞 掲 示					
		604			②環境に配慮した舗装 CO2の吸収・固定化		⑤異分野・他業種との連携 太陽光・給電・景観舗装			④舗装の合理的な維持管理 調査・試験方法①	④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント②	④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント③	④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント⑤								
		605			③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装①		③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装②			④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント①	③舗装の長寿命化 ・国土強靱化 コンクリート舗装 橋面舗装	③舗装の長寿命化 ・国土強靱化 コンクリート舗装③	③舗装の長寿命化・ 国土強靱化 コンクリート舗装④								
		606			②環境に配慮した舗装 中温化・フォームド技術①		②環境に配慮した舗装 中温化・フォームド技術②			③舗装の長寿命化・国土強靱化 舗装の長寿命化・高耐久化①	③舗装の長寿命化 ・国土強靱化 舗装の長寿命化・高耐久化②	③舗装の長寿命化 ・国土強靱化 高耐久上層路盤	③舗装の長寿命化 ・国土強靱化 舗装の長寿命化・高耐久化③								
		607	建設・施工技術(橋梁)		床版		防食			点検・調査	DX①	DX②	③舗装の長寿命化 ・国土強靱化 コンクリート舗装⑤								
		608			構造		設計			維持管理①	維持管理②	技術開発①	技術開発②								
		609	建設・施工技術(トンネル)		変状・耐震対策		点検・診断支援			近接施工	地山評価・斜面对策	【集中討議】 盤ぶくれ	設計・施工								
		701	計画・環境・安全・情報・マネジメント		渋滞対策・分析、 交通シミュレーション、 インバウンド対応(計画)		【集中討議】 道路分野の脱炭素化と 自然再興(環境)			無電柱化と道路景観 (環境)	道路空間の利活用 実践(環境)	【集中討議】 新時代の安全な道路空間 (安全)	データに基づく 交通事故対策(安全)								
		703			安全に資する新技術 (安全)		生活道路・歩行者のための 路面整備(安全)			道路事業の多様な効果、 道の駅(計画)	交通状況把握 (計画)	街路樹管理と建設分野の 脱炭素化(環境)	ETC2.0と情報の 利活用(情報)								
7		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
	704			道路事業におけるマネジメント手法 (マネジメント)		ICT等による生産性向上 (1)(マネジメント)		ICT等による生産性向上 (2)(マネジメント)	自動運転と道路 インフラ(情報)	交通容量・サービスレベル (計画)	④舗装の合理的な 維持管理 調査・試験方法②										
	705			④舗装の合理的な維持管理 施工機械・新工法		②環境に配慮した舗装 植物由来の材料		②環境に配慮した舗装 プラスチックの活用	②環境に配慮した舗 装 他分野素材のリサイクル	⑤異分野・他業種との連携 寒冷地舗装・新技術	④舗装の合理的な 維持管理 調査・試験方法③										
	706			① 舗装におけるDX ITによる施工管理・出来型管理①		① 舗装におけるDX AIによる調査・点検・診断		②環境に配慮した舗装 再生混合物	③舗装の長寿命化 ・国土強靱化 路盤	②環境に配慮した舗装 再生改質	④舗装の合理的な 維持管理 調査・試験方法④										
	707	道路管理・道路構造物マネジメント		冬季道路管理の高度化・ 効率化に向けた取組		① 舗装におけるDX ITによる施工管理・出来型管理②		【集中討議】 道路構造物の戦略的維持 管理に向けた取組	災害等のマネジメント 事例と対応技術	道路管理の高度化・効率化 に向けた取組①	道路管理の高度化・ 効率化に向けた取組②										
	708			計画・施工		④舗装の合理的な維持管理 表面処理・常温材料		降雨・水害	切土	地盤改良・土材料	軟弱地盤										
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00			

一般論文発表表(口頭発表・集中討議セッション・ポスターセッション)

第 36 回 日本道路会議プログラム

11 月 6 日 (木)

〈開 会〉 10:00 ～ 10:15 (3F コスモスホール (1) (2))

開会挨拶 (日本道路協会会長)

会議開催経過報告 (日本道路会議実行委員長)

〈総括基調講演〉 10:15 ～ 11:15 (3F コスモスホール (1) (2))

講演者 : 杓掛 敏夫 (国土交通省 道路局長)

〈基調講演・パネルディスカッション〉 13:00 ～ 14:30 (3F コスモスホール (2)) …………… 8

「2050 年カーボンニュートラルに向けた道路の脱炭素化の推進

～道路法改正を踏まえた道路の脱炭素化のあり方～」

講演者 : 石田 東生 (筑波大学 教授)

コーディネーター : 留守 洋平 (国土交通省 道路局 道路環境調整官)

〈基調講演・パネルディスカッション〉 14:30 ～ 16:00 (3F コスモスホール (1)) …………… 9

「持続可能なインフラマネジメントの実現～インフラ老朽化への対応～」

講演者 : 秋山 充良 (早稲田大学 教授)

コーディネーター : 秋山 充良 (早稲田大学 教授)

〈基調講演・パネルディスカッション〉 16:00 ～ 17:30 (3F コスモスホール (2)) …………… 10

「旅行速度に着目した道路のサービスレベル向上の実装に向けて」

講演者 : 大口 敬 (東京大学 教授)

コーディネーター : 大口 敬 (東京大学 教授)

〈一般論文・事例報告発表〉 …………… 14

*ポスターセッション 13:00 ～ 16:30 (現地開催のみ)

(計画・環境・安全・情報・マネジメント部門、道路管理・道路構造物マネジメント部門、建設・施工技術 (土工) 部門、建設・施工技術 (橋梁) 部門、建設・施工技術 (トンネル) 部門))

*口頭発表 (各部門) 13:00 ～ 17:00 (5F ～ 7F の各会場) (現地開催のみ)

*集中討議セッション

部 門	セッション名	時間・会場
計画・環境・安全・情報・マネジメント	「道路分野の脱炭素化と自然再興 (環境)」 座長: 小原 智 株式会社高速道路総合技術研究所 交通環境研究部環境研究室長	15:15 ～ 17:00 701
建設・施工技術 (舗装)	「新・舗装の構造に関する技術基準 ～基準改定, 舗装が目指す将来像～」 座長: 桑原 正明 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部道路基盤研究室長	13:00 ～ 15:00 601
建設・施工技術 (舗装)	「舗装メンテナンスの新たなプラットフォームの構築 ～異分野連携 WG からの提言～」 座長: 植田 知孝 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 関東支社アセットマネジメント推進部長	15:15 ～ 17:00 601

部 門	セッション名	時間・会場
建設・施工技術（土工）	「能登半島地震1」 座長：宮武 裕昭 国立研究開発法人土木研究所 地質・地盤研究グループ長	12:45～15:00 スバル
建設・施工技術（土工）	「道路土工構造物技術基準・同解説の改訂 座談会」 座長：塚田 幸広 道路土工委員会委員長	15:15～17:15 スバル

11月7日（金）

〈基調講演・パネルディスカッション〉 10:30～12:00（3F コスモスホール（1））…………… 11

「自動物流・自動運転社会の実現」

講演者：羽藤 英二（東京大学大学院 教授）

コーディネーター：羽藤 英二（東京大学大学院 教授）

〈基調講演・パネルディスカッション〉 13:30～15:30（3F コスモスホール（1））…………… 12

「防災・減災、国土強靱化の在り方～災害から国民の命と暮らしを守る～」

講演者：久田 真（東北大学大学院 教授）

コーディネーター：久田 真（東北大学大学院 教授）

〈パネルディスカッション〉 15:45～17:15（3F コスモスホール（2））…………… 13

「つながるクルマと道路～世界の潮流から探る協調 ITS の現在と将来～」

モデレーター：小山 敏（国立研究開発法人情報通信研究機構

イノベーション推進部門 標準化推進室 参事）

*共催：一般財団法人 ITS サービス高度化機構

〈一般論文・事例報告発表〉 …………… 14

*ポスターセッション 9:30～13:00（現地開催のみ）

（建設・施工技術（舗装）部門）

*口頭発表（各部門） 9:15～16:15（5F～7Fの各会場）

*集中討議セッション

部 門	セッション名	時間・会場
計画・環境・安全・情報・マネジメント	「新時代の安全な道路空間（安全）」 座長：大橋 幸子 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路交通研究部道路交通安全研究室長	13:15～14:45 701
道路管理・道路構造物マネジメント	「道路構造物の戦略的維持管理に向けた取組」 座長：七澤 利明 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部長	9:30～11:00 707
建設・施工技術（橋梁）	「道路橋示方書・同解説の改訂」 座長：石田 雅博 国立研究開発法人土木研究所 構造物メンテナンス研究センター 橋梁構造研究グループ長	15:00～16:15 スバル
建設・施行技術（トンネル）	「盤ぶくれ」 座長：砂金 伸治 東京都立大学 都市環境学部都市基盤環境学科教授	13:15～14:45 609

基調講演・パネルディスカッション

〔2050 年カーボンニュートラルに向けた道路の脱炭素化の推進〕

～道路法改正を踏まえた道路の脱炭素化のあり方～

基 調 講 演 日時：11 月 6 日（木）13：00～13：20 会場：3F コスモスホール（2）

パネルディスカッション 日時：11 月 6 日（木）13：20～14：30 会場：3F コスモスホール（2）

- ・地球温暖化に伴う気候変動の影響により、自然災害の激甚化・頻発化等が懸念されており、気候変動対策の推進は、我が国のみならず地球規模での対応が求められる喫緊の課題となっている。
- ・道路は、我が国の経済成長を支え、安全・安心な暮らしを確保する重要な社会基盤である一方、国内の CO₂ 排出量の約 2 割を占めている状況にあり、2050 年カーボンニュートラルという目標達成に向けて、道路の脱炭素化推進の必要性が高まっている。
- ・そのような中、2025 年 4 月に改正道路法が成立し、道路の脱炭素化が法定化されることを受け、更なる道路管理者による協働の促進により、道路が脱炭素に関わる役割と責任を積極的に果たすため、本セッションでは、道路の脱炭素化を推進するにあたり今後期待される取組・重要な取組について議論する。

(1) 基調講演

「道路分野の脱炭素化の推進に重要な点とこれからの「道路分野における脱炭素」への期待」

石田 東生（筑波大学 名誉教授）

(2) パネルディスカッション

《メンバー》

コーディネーター

留守 洋平（国土交通省 道路局 道路環境調整官）

パネリスト

石田 東生（筑波大学 名誉教授）

上田 俊也（東日本高速道路株式会社 技術本部副本部長 兼 技術・環境部長）

寺西 常顕（大阪市 建設局 都心活性化担当部長）

渡部 淳（東武バス 運輸部 部長）

《内容》

- 道路法改正を受けて、道路管理者に期待される脱炭素の取組
- 道路の脱炭素化のための新技術の積極的な活用
- 持続可能な道路の実現に向けて、道路の脱炭素化とあわせて取り組む環境政策 など

基調講演・パネルディスカッション

〔持続可能なインフラマネジメントの実現〕

～インフラ老朽化への対応～

基 調 講 演 日時：11月6日（木）14：30～14：50 会場：3F コスモスホール（1）

パネルディスカッション 日時：11月6日（木）14：50～16：00 会場：3F コスモスホール（1）

- ・2013年度の道路法改正等を受け、2014年度より道路管理者は全ての橋梁、トンネル、道路附属物等における5年に1度の点検の義務化から概ね10年経過し、予防保全に向けたメンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）が定着してきたが、小規模な地公体での技術系職員が不足しているなか、近隣市などと連携して維持管理を行う「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」を推進していく必要がある。
- ・また、今年1月に八潮市での道路陥没が発生するなど、道路地下占用物を起因とする道路陥没が発生しており、道路管理者と地下占用者との連携体制を構築し、地下空間管理のマネジメントを実施する必要性も出てきた。
- ・本セッションでは、今年4月に創設した「連携協力道路制度」、及び新技術の活用を含め効率的、効果的な道路の維持管理に向けて、持続可能なインフラマネジメントの実現に向けた取り組みについて議論する。

(1) 基調講演

「健全性は安全性を保証するか？ ― 持続的補修補強による健全＋強靱な社会基盤へ」

秋山 充良（早稲田大学 教授）

(2) パネルディスカッション

《メンバー》

コーディネーター

秋山 充良（早稲田大学 教授）

パネリスト

秋葉 正一（日本大学 教授）

今井 龍一（法政大学 教授）

西尾 真由子（筑波大学 准教授）

水野 高志（一般社団法人 建設コンサルタンツ協会）

（八千代エンジニアリング株式会社 取締役 副社長執行役員）

中屋 正浩（国土交通省 道路局 国道・防災課 道路メンテナンス企画室 室長）

《内容》

- ・道路の老朽化対策の今後の方向性
- ・八潮市での道路陥没を踏まえた道路地下空間インフラのマネジメント対応強化
- ・道路分野における地域インフラ群姿勢マネジメントの展開（連携協力道路制度）
- ・新技術の活用も含めた効率的・効果的な道路管理の実現

基調講演・パネルディスカッション

〔旅行速度に着目した道路のサービスレベル向上の実装に向けて〕

基 調 講 演 日時：11月6日（木）16：00～16：15 会場：3F コスモスホール（2）

パネルディスカッション 日時：11月6日（木）16：15～17：30 会場：3F コスモスホール（2）

日交通量を基本とした均質な道路整備手法を再構築し、移動しやすさ等のサービスレベルを達成する道路ネットワークを目指す必要がある。時間別・箇所別・方向別に偏在する交通渋滞に対応するため、混雑時間帯だけでなく渋滞のない時間帯の速度低下に着目し、区間のサービスレベル向上に向けた全国の実践と共により、学術界からの話題提供も通じ、今後の方向性を議論する。

(1) 基調講演

「交通性能照査型の道路計画・設計・マネジメントの実現に向けて」

大口 敬（東京大学 教授）

(2) パネルディスカッション

<コーディネーター>

大口 敬（東京大学 教授）

<パネリスト> ※五十音順

内海 泰輔（株式会社長大（交通工学研究会 研究グループ 委員長））

楠田 悦子（モビリティジャーナリスト）

根木 まるか（警察庁 交通局 交通規制課 交通管制技術室長）

依田 秀則（国土交通省 道路局 企画課 道路経済調査室長）

<議論テーマ>

○サービスレベルの現状と課題

○サービスレベル向上に向けた取組

基調講演・パネルディスカッション

〔自動物流・自動運転社会の実現〕

基 調 講 演 日時：11月7日（金）10：30～12：00 会場：3F コスモスホール（1）

パネルディスカッション 日時：11月7日（金）10：30～12：00 会場：3F コスモスホール（1）

○物流 2024 問題や人口減少に伴う構造的な物流の担い手不足という課題を抱える我が国において、物流の持続可能性を高めるため、物流ネットワークを強化・効率化にしていく必要がある。

○自動物流道路や自動運転トラックの取組みを踏まえつつ、

- ・自動運転トラックの実現に向けた車両開発や事業検討の取組み
- ・新東名高速道路における実証実験を踏まえたインフラからの支援への期待
- ・自動物流道路の実証実験計画を踏まえつつ、物流ネットワーク全体における自動物流道路の役割や技術開発等への期待

について、物流業界や学术界から道路インフラへの期待や今後の方向性を議論する。

(1) 基調講演

「自動物流・自動運転社会の実現（仮題）」

羽藤 英二（東京大学大学院 教授）

(2) パネルディスカッション

《メンバー》

コーディネーター

羽藤 英二（東京大学大学院 教授）

パネリスト

遠藤 哲夫（大成建設株式会社 本社技術センター 先進技術開発部 次世代技術開発室 次長）

大久保 勝広（Cuebus 株式会社 代表取締役）

浜岡 秀勝（秋田大学 教授）

辻 勇氣（株式会社 T2 技術開発本部長）

小川 博（株式会社ネクスティ エレクトロニクス 技監、
「RoAD to the L4」プロジェクトテーマ3 リーダー）

基調講演・パネルディスカッション

〔防災・減災、国土強靱化の在り方〕

～災害から国民の命と暮らしを守る～

基調講演 日時：11月7日（金）13：30～13：50 会場：3F コスモスホール（1）

パネルディスカッション 日時：11月7日（金）13：50～15：30 会場：3F コスモスホール（1）

- ・令和7年6月に「第1次国土強靱化実施中期計画」が策定されたことを踏まえ、国民の生命と財産を守る防災インフラ、経済発展の基盤となるライフラインとして、道路管理者の強靱化推進に向けた取組み。
- ・令和7年4月「道路啓開計画」が法定化されたことを踏まえ、円滑な道路啓開実施や実効性向上を図るための道路管理者の取組み。
- ・気候変動に伴い激甚化・頻発化する気象災害に対する、事前通行規制や効果的な情報発信、地域・関係機関との連携などの道路管理者の取組み。

などを議論し、今後の国土強靱化の取組の方向性を議論する。

(1) 基調講演

「防災・減災、国土強靱化の意義」

久田 真（東北大学大学院 教授）

(2) パネルディスカッション

《メンバー》

コーディネーター

久田 真（東北大学大学院 教授）

パネリスト

関谷 直也（東京大学大学院情報学環 教授）

国崎 信江（株式会社危機管理教育研究所 代表）

宮本 義浩（石川県土木部 技監（土木担当））

堀内 信（中日本高速道路株式会社 社長 COO 付防災担当部長）

藤田 修（国土交通省 道路局 環境安全・防災課 道路防災対策室長）

《内容》

- 〔防災・減災、国土強靱化の在り方〕
 - ・近年の災害の特徴と教訓
 - ・防災・減災、国土強靱化による対策の効果と進捗状況
 - ・対策の継続の必要性和内容
 - ・防災・減災、国土強靱化の方向性 など

C-ITS 国際セッション

〔つながるクルマと道路〕

～ 世界の潮流から探る協調 ITS の現在と将来 ～

日時：11 月 7 日（金）15：45～17：15 会場：3F コスモスホール（2）

- * 共催：一般財団法人 ITS サービス高度化機構
- * 日英同時通訳付き
- * 参加には別途の申込みが必要です。（参加無料）

近年、交通事故の削減、交通流の最適化、環境負荷の軽減といった社会課題への対応策として、協調型 ITS（C-ITS：Cooperative Intelligent Transport Systems）の導入が世界各国で注目されている。特に欧州およびオーストラリアでは、政策支援や官民連携のもと、早期から C-ITS の開発と実装が進められており、すでに欧州委員会のプロジェクトである C-Roads は複数の国で実運用が開始されるなど、技術や制度面での先進的な取り組みに注目が集まっている。

本セッションでは、欧州・オーストラリアにおける C-ITS の全体的な取り組み、各国での展開状況や最新の技術動向、さらに次世代 ITS の実現に向けた将来的なロードマップを紹介し、C-ITS に関する理解の深化と今後の発展に向けた議論の促進を目指す。

<モデレーター>

小山 敏

（国立研究開発法人情報通信研究機構 イノベーション推進部門 標準化推進室 参事）

<講演予定者>

マーティン・ベーム Mr. Martin Böhm

（C-Roads 事務局長、世界道路協会「ビッグデータ WG」議長、Austria Tech 技術部長）

ペーター・メッケル Mr. Peter Meckel

（ASFiNAG C-ITS プログラムマネジャー）

スーザン・ハリス Mdm. Susan Harris

（ITS オーストラリア CEO、国家交通インフラ評議会「車両生成データ WG」メンバー、オーストラリア・メルボルン大学インフラ技術産業研究諮問グループメンバー）

スティーブ・シュナイダー Mr. Steve Schneider

（ITS mobility マネージング・ディレクター）

一般論文・事例報告発表

【口頭発表】

(1)	計画・環境・安全・情報・マネジメント部門	22
(2)	道路管理・道路構造物マネジメント部門	33
(3)-1	建設・施工技術（舗装）部門	37
(3)-2	建設・施工技術（土工）部門	65
(3)-3	建設・施工技術（橋梁）部門	72
(3)-4	建設・施工技術（トンネル）部門	82

【ポスターセッション】

(1)	計画・環境・安全・情報・マネジメント部門	88
(2)	道路管理・道路構造物マネジメント部門	89
(3)-1	建設・施工技術（舗装）部門	89
(3)-2	建設・施工技術（土工）部門	91
(3)-3	建設・施工技術（橋梁）部門	91
(3)-4	建設・施工技術（トンネル）部門	91

論文・事例報告募集の概要と主要課題

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

《概要》

“2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステム”(WISENET)の実現に向けて、道路が社会・経済活動を支える基盤としての役割を十分に果たし、経済成長・物流強化、国土・地域安全保障、交通モード間の連携強化、観光立国の推進、自動運転社会の実現、低炭素で持続可能な道路の実現等に貢献していくため、進展する技術革新の活用や柔軟な発想等により、シームレスネットワークの構築、パフォーマンス・マネジメントによるネットワーク全体のサービス向上、安全性向上、賑わいの創出、道路分野における炭素中立・自然再興・循環経済の同時達成、道路システムのDX・xROADの推進等の取組を推進することが求められている。

計画・環境・安全・情報・マネジメント部門では、これらの取組に関連する学術研究・調査に関する論文、施策・個別対策の実施や現場の工夫等の実務に関する事例報告を幅広く募集する。

《主要課題》

- ①〈計画〉道路ネットワークの構築・サービス向上、パフォーマンス・マネジメント、効率的・効果的な渋滞対策、交通・防災拠点の機能強化、ICT交通マネジメントの展開、道路分野における地方創生・観光推進、公共交通・物流支援、新たなモビリティやシェアリングの利用環境の整備、道路事業の多様な効果、道路システムのDX・xROADの推進
- ②〈環境〉道路におけるカーボンニュートラルへの貢献、道路分野での生物多様性の取組、道路事業における環境影響評価技術と環境保全技術、安全で快適な道路緑化の推進、無電柱化のコスト縮減・施工の効率化、無電柱化による整備・経済効果、人中心の道路空間の構築
- ③〈安全〉効果的・効率的な交通安全対策の立案、対策に関する地域の合意形成、適切に分離された自転車通行空間の整備、サイクルツーリズムの推進、自動運転移動サービス混在時の交通安全対策、ユニバーサルデザインに配慮した道路空間整備
- ④〈情報〉道路を賢く使いこなすための円滑・安全・環境の改善に貢献するITS技術、道路ネットワーク運用時代に必要とされるITS技術、物流・大型車マネジメント、道路インフラ支援による自動運転の取組
- ⑤〈マネジメント〉プロセス間連携や官民連携の強化による品質確保・生産性革命、建設現場の省人化対策、災害対応力の強化、地域インフラの維持

《キーワード》

- ①〈計画〉シームレスネットワーク、重要物流道路、アクセス道路、局所渋滞対策、サービスレベル、道路幾何構造、交通結節点・物流拠点、道の駅、バス停、スマートIC、モーダルコネクタ、カーシェアリング、新たなモビリティ、道路事業評価、TDM、EBPM、ICT、AI、データプラットフォーム
- ②〈環境〉GX、気候変動、低炭素化、カーボンニュートラル、CO₂、サーキュラーエコノミー、再生可能エネルギー、ライフサイクルアセスメント、道路空間利活用、ほこみち、路肩の利活用、無電柱化のコスト縮減と施工効率化、無電柱化におけるPPP(PFI、包括委託)、無電柱化の整備効果と経済効果、環境影響評価、沿道環境、大気質、騒音、振動、低周波、緑化、自然環境、生物多様性、ネイチャーポジティブ、ロードキル対策、景観、グリーンインフラ
- ③〈安全〉交通安全対策、交通安全施設、幹線道路、ゾーン30プラス、生活道路、通学路、歩行者、自転車、新たなモビリティ、ラウンドアバウト、道路空間再構築、自転車通行空間、サイクルツーリズム、自動運転走行区間、バリアフリー、ユニバーサルデザイン
- ④〈情報〉ITS、プローブ情報、ビッグデータ、自動運転、運転支援、センシング技術、道路交通運用、地図情報、位置情報、物流・大型車マネジメント
- ⑤〈マネジメント〉i-Construction、DX、BIM/CIM、生産性向上・省人化、技術提案・交渉方式、フレームワーク方式、事業促進PPP/CM、包括・性能発注、災害復旧・維持管理における入札契約

【集中討議セッション】

- ★道路分野の脱炭素化と自然再興(環境)
- ★新時代の安全な道路空間(安全)

(2) 道路管理・道路構造物マネジメント部門

《概要》

平成 26 年から道路トンネルや橋梁では定期点検が法定化され、平成 29 年には土工構造物の定期点検も推奨されている。令和 6 年能登半島地震を踏まえた緊急提言では、地域安全保障のエッセンシャルネットワークとして耐震性や復旧性を備え災害時に機能するネットワークの必要性が提言されている。道路管理者は、長寿命化修繕計画を策定したり、大規模地震等に対し、啓開の考え方や手順、事前に備えるべき事項等を定めた「道路啓開計画」の策定を順次進めたりするなど、老朽化対策や防災対策を継続的かつ計画的に進めようとしている。また、地震や豪雨、豪雪による道路災害に対する対応も相次いでおり、道路管理者には、補修補強の事前の対応だけでなく、災害時の状態の把握、道路の啓開の迅速化も求められている。

すなわち、道路管理や道路構造物の修繕・更新のマネジメントを効果的・効率的なものにするために、道路管理者は、個々の構造物の長寿命化や防災・減災をするだけでなく道路ネットワークをマネジメントすること、複数の構造物や構造物種別を統合した構造物群として扱うこと及び老朽化対策と防災対策を複合的に扱うことが求められるようになってきている。また、災害時の情報収集の迅速化と蓄積された点検結果などを反映した災害時の即応のための体制整備の両者のマネジメントも求められている。そして、道路構造物に関するこれらの統合的なマネジメントのためには、データの利活用は欠かせない。

しかし、構造物の種別を跨いだネットワークとしての道路構造物群のマネジメント、個々の構造物の老朽化対策と防災対策を統合的に扱い修繕の効率化を図ったり、安全の確保だけではなく予防保全も進めるなどの統合的なマネジメント、及び災害時の即応性を高めるための道路構造物の現状の評価とそれに基づく情報収集体制の整備を進めるためのマネジメントについては、個々の道路管理者では取り組まれていると考えられるが、道路管理者全体としての知見の蓄積は進んでいない。

また、道路管理者の意思決定を支援するための効果的なデータの活用につながるよう、道路データプラットフォーム「xROAD」が構築されている。道路管理者間で共通的なデータが蓄積され、分析されることが期待されるものの、道路管理者毎に蓄積されているデータの種類や量、フォーマットはまちまちであり、道路管理者を跨いでデータを蓄積し、利活用することはまだまだ難しい状況にある。

そこで、道路管理・道路構造物マネジメント部門では、以下の①から③の主要課題について幅広く論文・事例を募集する。

《主要課題》

注) 特定の構造物の点検、健全性の診断・リスク診断、修繕・補強、及び更新の事例、並びに、個々の構造物種別に特有の劣化予測技術や修繕工法等は、建設・施工技術の各部門へ応募すること。

- ① 道路の状態の早期把握など災害時の道路管理の新たな取り組みやデータの活用事例
- ② 防災・減災・老朽化対策などの道路構造物の戦略的維持管理やデータの活用事例
- ③ 冬期道路管理の高度化・効率化やデータの活用事例

《キーワード》

- ①・様々な技術を活用した道路の状態の早期把握の事例
 - ・災害時の道路構造物の状態の情報収集の迅速化事例
 - ・応急（緊急）復旧事例
- ②・道路構造物群のアセットマネジメント
 - ・道路の災害リスクの評価
 - ・道路網の啓開計画の策定・更新・代替路、迂回路の設定や機能向上
 - ・長寿命化修繕計画の策定・更新
 - ・構造物における長寿命化対策と機能向上を組み合わせた対策
 - ・複数の構造物の修繕を組み合わせた効率的な修繕工事
 - ・インフラ管理者間の連携
 - ・地域インフラ群
 - ・道路メンテナンス会議
 - ・施設の集約
 - ・人材育成、確保
 - ・情報の収集、発信
 - ・DX
- ③・防雪マネジメント
- ・除雪管理の高度化

【集中討議セッション】

★道路構造物の戦略的維持管理に向けた取組

(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門

《概要》

舗装技術を取り巻く状況は、DX（デジタルトランスフォーメーション）の加速、地球環境問題への世界的関心の高まりによるGX（グリーントランスフォーメーション）への投資、資源循環経済システム（CE：サーキュラーエコノミー）の取り組みなどにより、大きく変化している。さらに、道路ネットワークの持続性確保や道路空間の多機能化の観点などからも、舗装が果たすべき役割は重要性を増している。

こうした社会背景において、舗装分野では、生産性向上に寄与する新技術の開発やイノベーションの創出が求められている。加えて、深刻化するインフラの老朽化や相次ぐ自然災害への対応、環境問題の改善、快適な走行空間・道路空間の創出に寄与する技術など、多様な社会ニーズへの対応が必要とされている。

このため、建設・施工技術部門（舗装）では、これらの社会的要請に応える先進的な調査研究、新技術、現場における問題解決・創意工夫・追跡調査事例、および海外における取り組み事例などについて幅広く募集する。

《主要課題》

舗装部門では、以下の主要課題に関する産官学の取り組みについて、「調査研究」「新技術」「現場における調査・設計・施工・管理等の事例報告」を広く募集する。

1. 舗装におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）
2. 環境に配慮した舗装
3. 舗装の長寿命化・国土強靱化
4. 舗装の合理的な維持管理
5. 異分野・他業種と連携を通じたイノベーションの創出

《キーワード》

1. DX（デジタルトランスフォーメーション）

xROAD、データ活用による道路管理の効率化、AI、IoT、i-Construction、BIM/CIM、デジタルツイン（フィジカル（現実）空間、サイバー空間）、省力化、省人化、無人化、安全確保、働き方改革など

2. 環境舗装

カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミー、アスファルト代替、中温化・常温混合物、リサイクル（舗装発生材、他産業発生材、コンクリート廃材の高度資源化）、路面温度上昇抑制舗装、景観舗装、無電柱化に対応した舗装技術、環境負荷低減など

3. 長寿命化・国土強靱化

材料および工法・試験法・評価法、長期性能保証工事、超重交通への対応、適材適所でのコンクリート舗装の活用、土工と舗装との連携・橋面舗装、災害に強い舗装、災害復旧に貢献する技術、自己治癒を可能にする舗装技術など

4. 維持管理

次世代舗装マネジメント、舗装点検要領に基づく取り組み、早期劣化区間への対応、メンテナンスサイクル、舗装マネジメントシステム、地域要件を考慮した舗装管理、調査・点検・診断・詳細調査方法、既設舗装の評価、修繕設計、維持・修繕工法、路面下空洞調査など

5. 異分野・他業種との連携

他分野を含めた共創、技術創造による多機能空間への進化、自動運転・新たなモビリティなどへの対応、道路インフラによる「路車協調システム」、道路空間で発電・給電する舗装技術など

【集中討議セッション】

- ★新・舗装の構造に関する技術基準～基準改定、舗装が目指す将来像～
- ★舗装メンテナンスの新たなプラットフォームの構築～異分野連携 WG からの提言～

(3)-2 建設・施工技術（土工）部門

《概要》

2024年1月に発生した能登半島地震により、盛土、切土等の道路土工構造物に大きな被害があり、通行止めなど大きな影響を受けた。また、豪雨も激甚化しており近年も多くの土工構造物等が被害を受けている。特に、盛土が崩落し土石流となり甚大な人的・物的被害が起こるなど、災害防止への意識が高まっている。応急復旧／本復旧といったハードの対応、迂回路の確保や通行規制、モニタリングといったソフトの対応に関する事例も蓄積している。また、能登半島地震を受け、2025年に道路土工構造物技術基準の改定が予定されている。

メンテナンス意識の高まりに伴い、2023年に道路土工構造物点検要領が改定され2巡目の点検に入った。これにより道路土工構造物の現状把握が行われ、よりの確な維持管理に活用できる情報や経験の蓄積が進みつつある。

道路土工を取り巻く環境は急速に変化している。

生産性向上を背景としてICT土工にはじまった情報化は、DXとして実務への適用が進められている。

2020年には地質地盤の持つ不確実性の適切な取り扱いに関する「土木事業における地質・地盤リスクマネジメントのガイドライン」がとりまとめられ計画、調査、設計、施工、維持管理を通じた事例が蓄積されている。

また、建設リサイクル推進計画2020が策定され、「質」を重視するリサイクルへの取り組みが強化され、重要性が高まっている。

さらに、土工分野においても、脱炭素の取り組み、多様性や働き方改革等の取り組みが加速している。

道路土工分野は経験工学的な要素が強く、現場における知見と経験の共有が重要である。学術的な論文に限らず、現場における技術者の取り組み等は、土工分野の有効性と効率性の向上のために重要である。

建設・施工技術（土工）部門では、下記に挙げる主要課題に関連する現場の取り組みに関する報告等を広く募集する。（土質力学、地盤工学等に関する内容は当部門で扱う）

《主要課題》

- ・地震や豪雨等の自然災害における道路土工の被害と対応
- ・各種の土工構造物等の維持管理（特に点検結果、変状把握、点検手法、監視手法、異常時の対応手法、個別箇所の被災、変状事例を含む）

※各部門に共通的な技術は、「道路管理・道路構造物マネジメント部門」へ

- ・土工分野におけるDXに関する取り組み
- ・地質地盤リスクマネジメントへの取り組み
- ・土工分野における脱炭素の取り組み
- ・土工分野における働き方改革、多様性に関する取り組み

《キーワード》

- ・道路土工、盛土工、切土工、斜面安定工、軟弱地盤対策工、カルバート工、擁壁工、排水工、仮設構造物、自然斜面对策など構成工種
- ・ICT 土工・DX・土工の品質確保・土質調査・土工構造物の点検手法・地震対策・災害復旧
- ・土質材料のリサイクル技術および品質確保技術・地盤環境保全技術（要素技術）
- ・道路土工に関する新技術（グリーン調達、IT関連技術、新材料の適用）
- ・道路土工の省力化・コスト縮減技術
- ・斜面防災対策技術（ITや先進技術の活用を含む要素技術）
- ・土工と舗装との一体化（設計・施工・管理など）
- ・地質地盤リスクマネジメント
- ・働き方改革、多様性

【集中討議セッション】

★能登半島地震

★道路土工構造物技術基準・同解説の改訂 座談会

(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門

《概要》

既設橋の老朽化とともに維持管理に従事する技術者も高齢化しており、メンテナンスサイクルを効率化することが維持管理を進めるうえでの課題となっている。既設橋に対しては、的確な点検・診断による予防保全の実現や、効果的で経済性に優れる補修補強による長寿命化や機能回復の実現が求められている。新設橋に対しては、建設段階においても耐久性能を確実に確保するための施策の導入が急務となっている。

建設・施工技術（橋梁）部門では、既設橋の維持管理に関連して、効率的なメンテナンスサイクルの構築、新設橋の建設に関連して、計画・調査から設計、施工までの建設プロセスにおいて所要の性能を有する橋梁の建設に資する調査研究や技術開発等について、幅広く論文を募集する。

《主要課題》

- ① 橋梁における DX（デジタルトランスフォーメーション）
- ② 橋梁の維持管理技術
- ③ 橋梁の耐震対策技術
- ④ 橋梁の計画・調査技術
- ⑤ 橋梁の設計技術
- ⑥ 橋梁の施工技術

《キーワード》

- ① 橋梁における DX（デジタルトランスフォーメーション）
 - ・ DX による生産性向上
 - ・ 3次元データの活用 ・ ICT の活用 ・ AI の活用
 - ・ デジタル技術を活用した計測、モニタリング
- ② 橋梁の維持管理技術
 - ・ 予防保全型メンテナンスに資する技術
 - ・ 点検、診断 ・ 補修、補強 ・ 長寿命化
- ③ 橋梁の耐震対策技術
 - ・ リスクマネジメント ・ 耐震設計
 - ・ 液状化対策、軟弱地盤対策 ・ 津波に対する配慮
- ④ 橋梁の計画・調査技術
 - ・ 地盤の調査、評価 ・ 維持管理に配慮した計画、調査
- ⑤ 橋梁の設計技術
 - ・ 限界状態設計法 ・ 新形式、新材料
 - ・ 維持管理に配慮した設計 ・ 耐久性能の確保に配慮した設計
- ⑥ 橋梁の施工技術
 - ・ 維持管理に配慮した施工 ・ 耐久性能の確保に配慮した施工
 - ・ 生産性向上に配慮した施工

【集中討議セッション】

- ★道路橋の予防保全型メンテナンスに向けた取り組み
- ★道路橋示方書・同解説の改訂

(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門

《概要》

近年、社会情勢の激しい変化に対応し、トンネル技術においても建設生産プロセスの変革による抜本的な安全性や生産性の向上、さらには維持管理の省人化・高度化等が求められている。一方で、トンネル分野においては、自然由来の地山の中に建設されるという特性を踏まえ、不確実性を適切に評価したうえで経験工学的な判断を要する 경우가多々あり、現場における実事例の共有も今後の技術継承において不可欠である。

建設・施工技術（トンネル）部門では、山岳・シールド・開削・沈理工法による道路トンネルおよび附属施設（換気施設、照明施設、非常用施設）の調査、計画、設計、施工、維持管理等に関して、より一層のコスト削減、工期短縮、良好な品質の確保に寄与する技術に加え、耐久性の向上、耐震性の向上、労働安全衛生の改善、周辺環境の保全、生産性の向上、維持管理業務の効率化等に資する技術について、論文や現場からの事例報告を幅広く募集する。

《主要課題》

- ① コスト縮減技術
- ② 工期短縮技術
- ③ 品質確保技術
- ④ 省人化・自動化技術
- ⑤ 施工時安全確保技術
- ⑥ 維持管理技術（各部門に共通的な技術は、道路管理・道路構造物マネジメント部門へ）
- ⑦ 耐震対策技術
- ⑧ 労働安全衛生改善技術
- ⑨ 周辺環境保全技術

《キーワード》

- ・トンネルの調査、計画、設計（坑口対策、近接施工、特殊地山、耐震対策）
- ・トンネルの支保構造（支保工、覆工、セグメントの構造）
- ・トンネルの施工（地山評価、施工管理、自動化・遠隔化、安全確保）
- ・地質・地盤リスクマネジメント
- ・トンネルの維持管理（点検、調査、補修・補強、点検支援技術）
- ・トンネルの附属施設（換気施設、照明施設、非常用施設）
- ・デジタル技術の活用（ICT、DX）
- ・GX（グリーンインフラ、カーボンニュートラル）

【集中討議セッション】

★盤ぶくれ

一般論文・事例報告発表

口 頭 発 表

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

渋滞対策・分析、交通シミュレーション、インバウンド対応（計画）	23	(1001 ～)
安全に資する新技術（安全）	24	(1009 ～)
道路事業におけるマネジメント手法（マネジメント）	25	(1017 ～)
道路分野の脱炭素化と自然再興（環境） ※集中討議セッション	26	(1026 ～)
生活道路・歩行者のための路面整備（安全）	26	(1032 ～)
ICT 等による生産性向上（1）（マネジメント）	27	(1039 ～)
無電柱化と道路景観（環境）	27	(1045 ～)
道路事業の多様な効果・道の駅（計画）	28	(1051 ～)
ICT 等による生産性向上（2）（マネジメント）	28	(1057 ～)
道路空間の利活用実践（環境）	29	(1063 ～)
交通状況把握（計画）	29	(1068 ～)
自動運転と道路インフラ（情報）	30	(1073 ～)
新時代の安全な道路空間（安全） ※集中討議セッション	30	(1078 ～)
街路樹管理と建設分野の脱炭素化（環境）	31	(1084 ～)
交通容量・サービスレベル（計画）	31	(1090 ～)
データに基づく交通事故対策（安全）	32	(1096 ～)
ETC2.0 と情報の利活用（情報）	32	(1101 ～)

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

6 日 701 13:00 ~ 15:00

渋滞対策・分析、交通シミュレーション、インバウンド対応（計画）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1001	松山市周辺における TDM 社会実験の事例報告	国土交通省 松山河川国道事務所 同 同	○大平 博斗 森 貴洋 星川 菜津美
1002	人流ビッグデータ等を活用した兵庫県内の渋滞対策の取り組み	兵庫県 (株) GEOTRA (一財) 計量計画研究所	○谷口 佳充 森山 拓洋 絹田 裕一
1003	国道 41 号名濃バイパス 6 車線化による整備効果	国土交通省 愛知国道事務所	○澤 圭斗
1004	令和 7 年 4 月に発生した ETC システム障害における高速道路の渋滞発生状況の分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○田邊 周 土肥 学
1005	リアルタイム観測データを活用した交通状況再現による災害復旧効率化の検討	早稲田大学 同	○小林 慎太郎 佐々木 邦明
1006	大都市圏高速道路交通シミュレーションの開発	(株) 高速道路総合技術研究所 首都高速道路 (株) 東京大学 生産技術研究所	○村上 雄馬 桂 聡 大口 敬
1007	「来道外国人向け高速道路フリーパス利用データ」と「訪日外国人向け観光アプリ取得ビッグデータ」の融合による訪日外国人高速道路利用者の流動把握	(株) 構研エンジニアリング 東日本高速道路 (株) 北海道科学大学	○越後 紘志 白石 貴俊 石田 眞二
1008	外国人観光客のレンタカー利用に係る交通課題に関する調査・分析	パシフィックコンサルタンツ (株) 同 国土交通省 北海道開発局	○金子 誠 泉水 良之 九笹 英司

6 日	703	13:00 ~ 15:00
-----	-----	---------------

安全に資する新技術（安全）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1009	橋梁更新工事に伴う対面通行規制により分岐が手前に移動した金沢東 IC における安全対策の取り組みについて	中日本高速道路（株） 同	○中神 勇人 高橋 康朗
1010	暫定二車線区間における区画柵（ワイヤロープ）の事故復旧用支柱の開発	（株）高速道路総合技術研究所 鋼製防護柵協会	○曾根 健司 山田 慶太
1011	既設の基礎を利用した立入防止柵の更新工法の開発について	（株）ビーセーフ 中村建設（株） 同	○松嶋 秀士 金田 学 新宮 正盛
1012	首都高速道路における路面投映技術の視認性評価	首都高速道路（株） 同 同	○染谷 厚徳 城田 拓海 徳田 裕美
1013	トンネル内での逆走車による事故防止に向けた照明制御の取り組み	中日本高速道路（株） 同	○豊田 誠 山本 浩司
1014	広スパン海峡部低位置道路照明設備の導入	本州四国連絡高速道路（株） 同	○稲井 貴斗 山本 浩之
1015	新技術を活用した歩行者及び車両の挙動分析と対策の方向性	国土交通省 四国地方整備局 同	○三寫 晃平 宗光 太助
1016	雪崩発生に関する簡易判断支援手法 ～入手が容易な観測データを活用した雪崩発生条件～	（国研）土木研究所 寒地土木研究所 同	○松下 拓樹 吉井 昭博

6 日	704	13:00 ~ 15:15
-----	-----	---------------

道路事業におけるマネジメント手法（マネジメント）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1017	直轄工事におけるリスクに関する調査	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○森口 智聡 田嶋 崇志 松田 奈緒子
1018	技術提案・交渉方式の適用効果に関する調査	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○長崎 裕幸 田嶋 崇志 松田 奈緒子
1019	技術提案・交渉方式（ECI 方式）による舗装修繕工事	本間道路（株） 同 同	○中川 慧 鈴木 大輔 佐藤 貴史
1020	橋梁補修・補強工事の技術提案・交渉方式適用による対処事例と効果分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○池田 祥宜 田嶋 崇志 松田 奈緒子
1021	ECI 方式による橋梁耐震補強工事の発注	国土交通省 大宮国道事務所 同 同	○松川 智子 酒井 健 児玉 憲一
1022	橋梁維持管理における官民連携スキームの検討と課題	日本工営（株） 西日本旅客鉄道（株） 同	○坂内 理佳 坂田 鷹起 益井 大樹
1023	国道 4 号の老朽管による陥没対応の教訓と複数年フレームワークモデル工事の施工	国土交通省 大宮国道事務所 同 同	○平山 将吾 児玉 憲一 牧野 安伸
1024	総合評価落札方式における技術提案テーマの分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○上田 圭 田嶋 崇志 松田 奈緒子
1025	総合評価落札方式における新たな入札契約方式（技術提案評価型 S I 型）に関する報告	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○遠藤 弘気 松田 奈緒子 田嶋 崇志

6 日	701	15:15 ~ 17:00	※集中討議セッション
-----	-----	---------------	------------

道路分野の脱炭素化と自然再興（環境）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1026	次世代自動車等の二酸化炭素排出係数の算定における「Well to Wheel」の考え方の適用	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○根津 佳樹 橋本 浩良
1027	道路照明の低炭素化にむけた消費電力量削減技術について	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○澤田 泰征 橋本 浩良
1028	マイクロ波加熱装置を再生骨材の加熱に適用したエネルギー効率の検討	前田道路（株） 同	○ラッカ ラヤンボルヤン 小田 猛
1029	設計要領第五集造園の改定について	（株）高速道路総合技術研究所	○繁富 剛
1030	道路分野の生物多様性への貢献に向けた側溝の脱出装置の開発	福田道路（株）	○北添 慎吾
1031	道路事業における動植物の環境保全措置の傾向分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 石川県立大学／国土技術政策総合研究所 国土交通省 国土技術政策総合研究所	○大河内 恵子 上野 裕介 橋本 浩良

6 日	703	15:15 ~ 17:00
-----	-----	---------------

生活道路・歩行者のための路面整備（安全）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1032	豪雪地帯の生活道路におけるスムーズ横断歩道の効果と運用実態	（株）オリエンタルコンサルタンツ 同 同	○渡邊 大聖 長尾 一輝 川村 知裕
1033	サイン曲線型柵を用いたアスファルト舗装におけるハンプの施工事例	（株）キクテック 同	○寺倉 嘉宏 翠 昭博
1034	生活道路どうしの交差点部に設置するハンプの施工方法に関する調査	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○森澤 亮太 藤田 裕士 黒澤 明史
1035	生活道路において更新可能な高機能化舗装の構造および機能例	（株）豊田中央研究所 （株）大林組 トヨタ自動車（株）	○市毛 敬介 粕谷 悠紀 伊東 裕司
1036	生活道路において更新可能な高機能化舗装のモックアップ構築事例	（株）大林組 大林道路（株） （株）豊田中央研究所	○粕谷 悠紀 森石 一志 市毛 敬介
1037	幼児同乗自転車を考慮した路面評価指標の検討	北見工業大学 同 大林道路（株）	○真田 拓磨 富山 和也 森石 一志
1038	歩行者の体幹加速度に影響を及ぼす路面についての検討	北見工業大学 同 大林道路（株）	○吉田 昂 富山 和也 森石 一志

6 日	704	15:30 ~ 17:00
-----	-----	---------------

ICT 等による生産性向上 (1) (マネジメント)

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1039	高速道路事業における共通データ環境の導入効果と課題について	中日本高速道路 (株) 同	○内山 洸 後藤 滉治
1040	高速道路事業における BIM/CIM 全面適用に向けた方針策定について	中日本高速道路 (株) 同	○後藤 滉治 内山 洸
1041	設計業務における 3 次元モデル作成に関する一考察	中日本高速道路 (株) 同	○甲斐 リサ 石田 篤徳
1042	BIM/CIM データを維持管理で使用するための検討結果報告 (橋梁モデルを例として)	国土交通省 岡山国道事務所 同 国際航業 (株)	○逸見 忠宏 瀬川 大雅 川崎 裕太郎
1043	MMS データの利便性向上に向けた隣接する点群データの合成及び分割の検討	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○山口 知記 堀口 和希
1044	電子成果品を対象としたデータ連携のオートメーション化に関わる取組事例報告	日本工営 (株) 同 同	○渡邊 和樹 石原 晃一 近藤 鍊真

7 日	701	9:30 ~ 11:00
-----	-----	--------------

無電柱化と道路景観 (環境)

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1045	既設側溝を活用した無電柱化の構造に係る考察	(一財) 日本みち研究所 同	○緒方 悠哉 森山 誠二
1046	電線類地中化におけるトレンチ工法の実践的技術の蓄積と検証	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同	○永長 哲也 大部 裕次
1047	電線共同溝工事における埋設物起因リスクとその対応策の検討—施工現場調査に基づく実態分析—	ジオ・サーチ (株) 京都大学 大学院 ジオ・サーチ (株)	○澤井 崇 大庭 哲治 久間 慎之
1048	ラウンドアバウトの機能向上に資する無電柱化の効率的な進め方に関する考察	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○大部 裕次 榎本 碧 福島 宏文
1049	土木構造物の圧迫感や威圧感低減のためのコンクリート面の修景方法の類型とその効果の整理結果について	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○笠間 聡 上田 真代 福島 宏文
1050	道路構造物の定量的な修景優先度判定手法	首都高速道路 (株) 同	○吉田 祥二 佐野 優里奈

7 日 703 9:30 ~ 11:00

道路事業の多様な効果・道の駅（計画）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1051	鈴鹿亀山道路の整備について～みんなでつくる鈴鹿亀山道路～	三重県 同	○糸川 侑輝 高橋 政孝
1052	新京橋連結路・都心環状線（築地川区間）大規模更新の事業概要	首都高速道路（株） 同 同	○堀内 佑樹 松井 駿 柳瀬 有梨
1053	多摩都市モノレール延伸（上北台～箱根ヶ崎）事業について	東京都	○下田 康貴
1054	道路施設等を活用した物流の効率化を目指して ―「生産空間」の暮らしと産業を支える物流の維持に向けた取組―	国土交通省 北海道開発局 同 同	○堀田 美月 大政 幸輝 中野 賢也
1055	フェーズフリーの視点を取り入れた「道の駅」の防災機能向上の取り組み	（国研）土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○上田 真代 大部 裕次 福島 宏文
1056	次世代の「道の駅」に求められる情報提供施設の在り方	（一財）日本みち研究所 同	○久保田 優斗 吉原 功

7 日 704 9:30 ~ 11:00

ICT 等による生産性向上（2）（マネジメント）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1057	万博会場整備をはじめとした夢洲関連事業の工事車両の運行管理について	大阪市	○吉岡 靖記
1058	供用中道路上の橋梁架設時における工事管理へのデジタル技術利用	東日本高速道路（株） 同 同	○藤原 直哉 中村 雅範 山本 亜沙実
1059	NEXCO 東日本における遠隔立会実施状況とその評価	東日本高速道路（株） 同	○伊勢谷 真樹 日下 寛彦
1060	アスファルトプラントにおける骨材ストックヤードの在庫管理業務の効率化	大林道路（株） （株）システム・クリニック 神戸大学 大学院	○青山 俊也 菅沼 直昭 黒木 修隆
1061	アスファルトの取扱い作業時に求められる保護手袋の開発について	ニチレキグループ（株） 同 （株）ダイコープロダクト	○川島 明 川添 崇生 川北 康伸
1062	真夏日等における暑熱対策の検討	（株）スペース・グリーン 同 同	○泉岡 翔一郎 増谷 貴斗 光浪 一成

7 日 701 11:15 ~ 12:30

道路空間の利活用実践（環境）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1063	現在のほこみち指定状況及び取組に関する事例報告	(一財) 日本みち研究所 同 同	○橋本 千裕 青山 万吉 山岡 聡
1064	日本風景街道の登録状況の推移及び取組に関する事例報告	(一財) 日本みち研究所 同 同	○山岡 聡 橋本 千裕 青山 万吉
1065	津駅周辺道路空間を活用した社会実験について	三重県 同	○前田 拓也 伊藤 文善
1066	産官学民連携による水都大阪ブリッジテラス社会実験～橋上の持続的な管理体制の構築に向けて～	大阪市	○石崎 友唯
1067	容易に抹消可能な仮設路面標示用塗料の開発	アトミクス（株）	○久木田 壮介

7 日 703 11:15 ~ 12:30

交通状況把握（計画）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1068	AI カメラのエッジ処理によるリアルタイム断面交通量調査の試行	(株) テクノクレア LocationMind（株） 法政大学	○阿部 清貴 柴崎 亮介 今井 龍一
1069	AI 画像認識・3D 点群データ等を用いた交差点交通量調査の試行について	(株) 千代田コンサルタント 同 同	○荒木 正弘 豊田 康 長谷川 究
1070	道路特性や道路交通状況が左車線利用率に与える影響に関する研究	東京大学 大学院 横浜国立大学	○大塚 晴紀 田中 伸治
1071	滞留空間設置歩道における軌跡データを用いた歩行者交通流比較分析	大阪公立大学 同	○四月朔日 匠 吉田 長裕
1072	能登半島地震における ETC2.0 プローブデータを活用した経路旅行時間算出システムの構築	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○森 洸斗 杉山 貴教 今野 新

7 日 704 11:15 ~ 12:30

自動運転と道路インフラ（情報）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1073	路車協調システムを活用した積雪寒冷地における自動運転運行支援	国土交通省 帯広開発建設部 同 同	○齊藤 航斗 本間 光世 澤田 輝雅
1074	交通シミュレーションによる自動運転トラック向け合流支援情報提供の効果分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所	○山本 大貴
1075	供用中の都市高速道路における自動運転用特殊塗料の適用	阪神高速道路（株） 同	○川崎 雅和 中田 諒
1076	超高齢化、豪雪地帯における自動運転サービス実装と課題	日本工営（株）	○石川 正樹
1077	光ファイバセンシング技術を用いた路車協調型自動運転支援技術の研究開発	阪神高速道路（株） 鹿島建設（株） 技術研究所 （株）SUBARU	○坂井 康人 永谷 英基 山口 史人

7 日 701 13:15 ~ 14:45 ※集中討議セッション

新時代の安全な道路空間（安全）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1078	より安全で低廉な自動運転バスの実現に向けた走行空間改善	東京大学 生産技術研究所	○平岩 洋三
1079	福岡県におけるラウンドアバウトの取組について	福岡県 同	○坂井 浩平 宇土 賢吾
1080	ラウンドアバウトの実車走行実験における運転者の習熟に関する検討	（国研）土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○福島 宏文 増澤 諭香 榎本 碧
1081	ハンプ・狭さく設置箇所における車両の通過速度等のビデオ調査結果	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○藤田 裕士 黒澤 明史 森澤 亮太
1082	自転車インフラ整備を阻む自歩道の壁	岩手県立大学	○元田 良孝
1083	交通バリアフリー比較体験コースの改良、AR 導入等について	（株）千代田コンサルタント 同 同	○小柏 尚己 水谷 智充 松元 涼子

7 日 703 13:15 ~ 14:45

街路樹管理と建設分野の脱炭素化（環境）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1084	空中写真と深層学習を用いた街路樹データ抽出と自治体での活用可能性	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同	○榎本 碧 福島 宏文
1085	街路樹における倒木・落枝事故の実態と発生要因	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○飯塚 康雄 小島 孝文 久保田 小百合
1086	オープンデータと倒木傾向からの危険リスク予測図作成について	西日本高速道路エンジニアリング中国(株) 西日本高速道路(株) 西日本高速道路エンジニアリング中国(株)	○松井 爽 野口 佳枝 三宅 哲也
1087	積算資料を用いた GHG 排出量の試算及び算定方法の検討状況	国土交通省 国土技術政策総合研究所 元国土技術政策総合研究所((株)熊谷組) 国土交通省 国土技術政策総合研究所	○布施 純 村上 順也 富田 興二
1088	積算資料を用いた GHG 排出量算定による排出削減量等の見える化	元国土技術政策総合研究所((株)熊谷組) 国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○村上 順也 富田 興二 原野 崇
1089	事業評価における CO ₂ 価値の算定に関する調査	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○田嶋 崇志 長崎 裕幸 松田 奈緒子

7 日 704 13:15 ~ 14:45

交通容量・サービスレベル（計画）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1090	大型車混入を考慮した信号交差点の飽和交通流率に関する分析	日本大学 同 同	○市川 遼 青山 恵里 小早川 悟
1091	拠点間経路上の区間速度の時間帯変動に関する一考察	(株) 長大 広島大学 大学院 同	○山本 航 松永 匠太 塚井 誠人
1092	近年の常時観測交通量データを用いた設計基準交通量の検証	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○長嶋 右京 河本 直志 土肥 学
1093	道央圏連絡道路における WISENET の実現に向けた検討	国土交通省 札幌開発建設部 同 パシフィックコンサルタンツ(株)	○野地 拓也 佐々木 理人 河合 宏之
1094	道路特性を考慮したサービスレベル評価に関する基礎分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○二木 健人 河本 直志 土肥 学
1095	道路階層に応じたサービスレベル (LOS) の北海道への適用に向けた考察	国土交通省 北海道開発局 同	○木村 泰正 武田 光邦

7 日 701 15:00 ~ 16:15

データに基づく交通事故対策（安全）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1096	MMS 点群データを用いた走行シミュレーションによる交差点改良の視認性評価	国際航業（株） 同 同	○小林 真歩 奥田 孝佳 梅原 寿人
1097	札幌開発建設部管内における交通安全対策の取り組みについて	国土交通省 札幌開発建設部 同 同	○西岡 駿 安藤 彰 三澤 英恵
1098	デジタルツインによる冬期道路交通マネジメントシステムにおける気象の先読み情報	（一財）日本気象協会 同 北海道大学 大学院	○小松 麻美 丹治 和博 高橋 翔
1099	中央道下り線勝沼 IC 付近「魔の下り坂」の事故対策と効果検証	中日本高速道路（株） 同 中日本ハイウェイエンジニアリング（株）	○市村 康平 佐野 昌嗣 稲吉 龍一
1100	道路利用者の意見と交通事故データの関連性の定量的分析	（株）日本海コンサルタント 国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○中村 孝一 島崎 秋伸 大橋 幸子

7 日 703 15:00 ~ 16:15

ETC2.0 と情報の利活用（情報）

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1101	重量違反疑い車両検知システムの考案	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○松本 卓馬 鈴木 大健 中川 敏正
1102	ETC2.0 データの高度化における新たなマップマッチング機能の精度検証	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○杉山 貴教 今野 新 森 洸斗
1103	防災カルテの情報整理と地図表示を通じた電子成果品の検索性向上に関する検討	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○田村 隆太郎 光谷 友樹
1104	既存設備を活用した車内に聞こえる拡声放送実験	首都高道路（株） 同 同	○西村 友希 磯部 圭隆 伊藤 裕貴
1105	アスファルトプラントにおけるベテランオペレータのバーナ運転を模倣する運転支援システムの改良	日工（株）	○浜辺 拓真

(2) 道路管理・道路構造物マネジメント部門

冬期道路管理の高度化・効率化に向けた取組……………	34	(2001 ～)
道路構造物の戦略的維持管理に向けた取組 ※集中討議セッション……………	35	(2009 ～)
災害等のマネジメント事例と対応技術……………	35	(2013 ～)
道路管理の高度化・効率化に向けた取組①……………	36	(2018 ～)
道路管理の高度化・効率化に向けた取組②……………	36	(2023 ～)

(2) 道路管理・道路構造物マネジメント部門

6 日 707 13:00 ~ 15:00

冬期道路管理の高度化・効率化に向けた取組

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2001	運搬排雪作業における積込量評価手法の検討	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 国土交通省 北海道開発局	○吉田 智 飯田 美喜
2002	カメラ画像および気象予測データを活用したロードヒーティング AI 制御	(株) シー・イー・サービス 同 北海道	○赤川 正弥 星野 洋 斎藤 晃一
2003	除雪トラックフレームに作用する負荷の振動加速度レベルによる検証について	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○植野 英睦 植野 英睦 山田 充
2004	道路吹雪対策を目的とした防雪盛土の試験施工および効果検証	(株) シー・イー・サービス 北海道 (株) シー・イー・サービス	○馬場 圭太 高橋 譲 正岡 久明
2005	吹きだまりにおけるタイムラプスカメラの画像測定結果	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○吉井 昭博 櫻井 俊光 松下 拓樹
2006	暴風雪・大雪時の災害デジタルアーカイブを用いた道路管理の判断支援システムの試作と今後の改善方針	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○原田 裕介 武知 洋太 大宮 哲
2007	コネクティッドデータを活用した冬期交通異常のリアルタイム検知	LocationMind (株) (株) ネクスコ東日本イノベーション&コミュニケーションズ 東日本高速道路 (株)	○高山 知拡 布施 光啓 山本 幸典
2008	「吹雪の視界情報」の X (旧 twitter) を利用した情報提供効果の分析	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○越國 一九 大宮 哲 武知 洋太

7 日	707	9:30 ~ 11:00	※集中討議セッション
-----	-----	--------------	------------

道路構造物の戦略的維持管理に向けた取組

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2009	40 万人都市における希少かつ経過年数類似施設（ボックスカルバート）の劣化予測	(一社) 近畿建設協会 豊中市 (一社) 近畿建設協会	○和田 實 藤井 晴也 荒武 睦子
2010	高速道路盛土の地震被害想定に基づく事前対応方針の検討	中日本高速道路（株） 同 同	○倭 大史 藤岡 一頼 中島 康介
2011	無人航空機を活用した被災箇所の AI 自動抽出システムの開発	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○梅原 剛 上仙 靖
2012	能登半島地震による北陸自動車道 金沢保全・サービスセンター管内でののり面の変状に対する災害復旧作業の報告	中日本高速道路（株） 同 同	○岡部 開 高橋 康朗 近藤 響

7 日	707	11:15 ~ 12:30
-----	-----	---------------

災害等のマネジメント事例と対応技術

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2013	レーダ雨量と浸水センサによる冠水予測	東京電機大学	○小林 亘
2014	人口減少が高速道路メンテナンスに及ぼす影響—北陸自動車道金沢保全・サービスセンター管内事業の事例分析—	中日本高速道路（株） 同 同	○高橋 康朗 齋藤 優文 川井 俊平
2015	豪雨災害に伴う橋脚基礎の洗掘モニタリング（管理手法の検討）	(株) 福山コンサルタント 東京都 (株) インフラ・テックソリューションズ	○宮本 睦希 加藤 光一郎 宮村 正樹
2016	豪雨災害に伴う橋脚基礎の洗掘モニタリング（導入事例）	(株) 福山コンサルタント 東京都 (株) インフラ・テックソリューションズ	○土田 智 松山 育子 宮村 正樹
2017	道路防災管理の継続的改善に向けた試み～情報のデジタル化によるインフラアセットマネジメントの実践～	国土交通省 関東技術事務所 同	○奥尾 展保 山下 尚

7 日 707 13:15 ~ 14:45

道路管理の高度化・効率化に向けた取組①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2018	災害時のトラックの局所走行品質の監視について（提案型）	個）高速道路中央研究所	○山本 武夫
2019	デジタルロードを実現する光ファイバセンサケーブルの既設舗装への実装技術	鹿島建設（株） 同 日本ライナー（株）	○辻 良祐 永谷 英基 小林 新一
2020	インフラ維持管理の効率化・高度化を加速するためのマネジメントシステム「Manesus（マネサス）」の導入事例・拡張事例	日本工営（株） 同 同	○山本 葉月 後藤 裕子 氏家 京香
2021	地下埋設物の３次元化ツール及び電線共同溝の３次元化ツールの開発	（株）オリエンタルコンサルタンツ 同 同	○井上 公究 藤岡 亮文 山口 隼弥
2022	ランプ分合流部等の厳しい条件下での６車線供用を維持した床版取替工事における交通運用検討	日本工営（株） 同 同	○安倍 樹 神谷 翔 市村 美佳

7 日 707 15:00 ~ 16:15

道路管理の高度化・効率化に向けた取組②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2023	道路維持管理業務へのIoTサービス実装に関する検討	カヤバ（株） 前田道路（株） 府中市	○高松 伸一 郭 慶煥 伊藤 和則
2024	高速道路における区画線劣化度を定量評価する２指標の比較検討	（株）高速道路総合技術研究所 同 同	○阪本 浩章 邢 健 甲斐 穂高
2025	車両内設置カメラを利用した路面標示かすれ評価技術の開発	（株）スマートシティ技術研究所 ニチレキ（株） 名古屋市	○趙 博宇 山本 康博 春田 亘尊
2026	地上型レーザースキャナー搭載型電動車いすを用いた歩道路面性状の効率的な計測・評価手法の検討	大林道路（株） 明石市 北見工業大学	○横山 昂洋 鈴木 啓祐 富山 和也
2027	溶解消去型仮レーンマークの開発について	（株）高速道路総合技術研究所 同	○藤原 龍 阪本 浩章

(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門

「新・舗装の構造に関する技術基準」～基準改定、舗装が目指す将来像～ ※集中討議セッション・	38	(3001～)
②環境に配慮した舗装 CO ₂ の吸収・固定化……………	38	(3003～)
③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装①……………	39	(3011～)
②環境に配慮した舗装 中温化・フォームド技術①……………	40	(3019～)
④舗装の合理的な維持管理 施工機械・新工法……………	41	(3027～)
①舗装における DX ITによる施工管理・出来型管理①……………	42	(3035～)
「舗装メンテナンスの新たなプラットフォームの構築」～異分野連携 WGからの提言～ ※集中討議セッション・	42	(3042～)
⑤異分野・他業種との連携 太陽光・給電・景観舗装……………	43	(3047～)
③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装②……………	44	(3054～)
②環境に配慮した舗装 中温化・フォームド技術②……………	45	(3061～)
②環境に配慮した舗装 植物由来の材料……………	46	(3068～)
①舗装における DX AIによる調査・点検・診断……………	47	(3075～)
①舗装における DX ITによる施工管理・出来型管理②……………	48	(3082～)
④舗装の合理的な維持管理 表面処理・常温材料……………	48	(3089～)
③舗装の長寿命化・国土強靱化 橋梁舗装技術・防水……………	49	(3096～)
アスファルト舗装博覧会……………	50	(3103～)
④舗装の合理的な維持管理 調査・試験方法①……………	51	(3110～)
④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント①……………	52	(3117～)
③舗装の長寿命化・国土強靱化 舗装の長寿命化・高耐久化①……………	53	(3124～)
②環境に配慮した舗装 プラスチックの活用……………	53	(3130～)
②環境に配慮した舗装 再生混合物……………	54	(3137～)
②環境に配慮した舗装 プラント技術・環境配慮技術……………	54	(3144～)
戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）に関する取り組み①……………	55	(3149～)
④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント②……………	55	(3154～)
③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装 橋面舗装……………	56	(3159～)
③舗装の長寿命化・国土強靱化 舗装の長寿命化・高耐久化②……………	56	(3164～)
②環境に配慮した舗装 他分野素材のリサイクル……………	57	(3169～)
③舗装の長寿命化・国土強靱化 路盤……………	57	(3174～)
戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）に関する取り組み②……………	58	(3179～)
④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント③……………	58	(3185～)
③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装③……………	59	(3191～)
③舗装の長寿命化・国土強靱化 高耐久上層路盤……………	59	(3197～)
⑤異分野・他業種との連携 寒冷地舗装・新技術……………	60	(3203～)
②環境に配慮した舗装 再生改質……………	60	(3209～)
④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント④……………	61	(3215～)
④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント⑤……………	61	(3220～)
③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装④……………	62	(3224～)
③舗装の長寿命化・国土強靱化 舗装の長寿命化・高耐久化③……………	62	(3228～)
③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装⑤……………	63	(3233～)
④舗装の合理的な維持管理 調査・試験方法②……………	63	(3238～)
④舗装の合理的な維持管理 調査・試験方法③……………	64	(3243～)
④舗装の合理的な維持管理 調査・試験方法④……………	64	(3248～)

(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門

6 日 601 13:00～15:00 ※集中討議セッション

「新・舗装の構造に関する技術基準」～基準改定，舗装が目指す将来像～

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3001	LCC を踏まえたコンクリート舗装への転換	国土交通省 香川河川国道事務所 同 同	○蓮井 康二 岡田 和美 佐々木 皓一
3002	超重交通路線に適用した高耐久性アスファルト舗装の追跡調査結果	東亜道路工業（株） 同	○佐川 聡 平戸 利明

6 日 604 13:00～15:00

②環境に配慮した舗装 CO₂ の吸収・固定化

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3003	カーボンニュートラルを実現するバイオ炭アスファルト混合物の開発	日本道路（株） 同 同	○立花 徳啓 平松 大銘 川村 修
3004	セメントを使用しないで原料由来 CO ₂ 排出削減する IL ブロック	マチダコーポレーション（株） 同	○本田 隆 町田 憲昭
3005	アスファルト混合物製造時排ガス中 CO ₂ 低減技術の有効性検証	前田道路（株） 同 同	○福山 菜美 吉原 響 中川 勇樹
3006	CO ₂ を固定化した再生合材の土浦市道への適用	前田道路（株） アサヒ飲料（株） 土浦市	○田中 聡太 峯澤 和裕 齋藤 一裕
3007	CO ₂ 再資源化人工石灰石を用いた低炭素型半たわみ性舗装の供用性	（株）NIPPO 同 住友大阪セメント（株）	○岩間 将彦 渡邊 真一 伊藤 優太
3008	CO ₂ 吸収アスファルト混合物の CO ₂ 固定化量測定に関する一検討	鹿島道路（株） 早稲田大学 早稲田大学 大学院	○武藤 朱音 小峯 秀雄 鈴木 陽也
3009	植物由来樹脂を用いた舗装材料の CO ₂ 排出量の試算例	東亜道路工業（株） 同 （国研）土木研究所	○深谷 美優 平戸 利明 百武 壮
3010	低炭素 As 混合物の CO ₂ 削減効果と追加費用に関する一検討	（国研）土木研究所 同 同	○山原 詩織 川上 篤史 百武 壮

6 日	605	13:00 ~ 15:00
-----	-----	---------------

③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3011	連続鉄筋コンクリート舗装施工における鉄筋のユニット化を用いた工期短縮事例について	国土交通省 大分河川国道事務所 同 同	○吉開 亮介 古原 正人 重黒木 幸英
3012	コンクリート舗装修繕工事における工事期間短縮、大型車通行確保のための工夫について	国土交通省 酒田河川国道事務所 同	○高坂 晴伎 豊嶋 駿一
3013	国道 23 号蒲郡バイパス建設工事における連続鉄筋コンクリート舗装工事での BIM/CIM 等の活用事例	福田道路（株） 同 国土交通省 名四国道事務所	○小林 秀文 本間 悟 山岡 正和
3014	トンネル連続鉄筋コンクリート舗装の ICT 施工について	国土交通省 豊岡河川国道事務所 パシフィックコンサルタンツ（株） 同	○山岡 晋 重信 兼史 長崎 亜弥美
3015	長寿命化に向けたコンクリート舗装への転換	国土交通省 秋田河川国道事務所 同	○高津 裕樹 鈴木 透
3016	コンクリート舗装の採用について	国土交通省 宮崎河川国道事務所	○乾 瑛太
3017	簡易な施工機械を用いた空港エプロン舗装の薄層付着コンクリートオーバーレイの施工事例	日本道路（株） 同 北海道エアポート（株）	○岸本 涼 小橋 幸夫 葛西 昭仁
3018	一般国道 2 号広島県三原市本郷におけるコンクリート舗装修繕の施工事例	国土交通省 福山河川国道事務所 同 同	○矢野 翔汰 山内 和樹 田村 繁巨

6 日	606	13:00 ～ 15:00
-----	-----	---------------

②環境に配慮した舗装 中温化・フォームド技術①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3019	中温化アスファルト混合物の実態調査結果について	(一社) 日本アスファルト合材協会 同	○常松 直志 山本 富業
3020	フォームド技術を用いたアスファルト合材の広域安定供給の検証	(株) NIPPO 同 同	○多賀 健太郎 鍋石 文秋 末原 俊史
3021	中温化混合物を用いた3層施工の取り組み	前田道路 (株) 西日本高速道路 (株) 同	○佐伯 祐介 加藤 雅樹 宗 駿登
3022	高再生率 As 安定処理の中温化に関する事例報告	大有建設 (株) 同 同	○奥村 高司 長崎 洋 前川 佳奈芽
3023	一般国道6号における中温化アスファルト舗装の適用事例	国土交通省 東京国道事務所 世紀東急工業 (株) 同	○横田 有理子 木畑 貴道 小柴 朋広
3024	常圧式フォームド装置による中温化混合物の実路施工について	(株) NIPPO 同 同	○山田 直樹 鈴木 健洋 後藤 史生
3025	宮城県気仙沼土木事務所発注における中温化試行工事について	前田道路 (株) (株) 菅原工業 前田道路 (株)	○升明 慶太 菊池 亮 宮崎 慎也
3026	フォームド技術を活用したねじれ抵抗性アスファルト混合物のサーキットへの適用事例	(株) NIPPO 同 同	○岩田 道忠 志賀 義伸 友松 将良

6 日	705	13:00 ~ 15:00
-----	-----	---------------

④舗装の合理的な維持管理 施工機械・新工法

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3027	遠隔操作バックホウの合材工場への適用性に関する検討	前田道路（株） 同 同	○宮内 賢徳 加藤 康弘 田中 喜展
3028	アスファルトフィニッシャの遠隔操作技術の現場適用事例	国土交通省 高崎河川国道事務所 世紀東急工業（株）	○関 徳和 坂本 修一
3029	作動範囲限定型油圧ショベル用自動停止システム	鹿島道路（株） 同	○大竹 元志 齋藤 光陽
3030	指向性スピーカを活用した騒音を抑制する注意喚起装置の開発	鹿島道路（株） 同 同	○内山 智史 阪田 正弘 平藤 雅也
3031	舗装端部を効率よく加熱可能な自動点火・消化式ジョイントヒータ	鹿島道路（株） 同	○西川 匠哉 平藤 雅也
3032	電動ローラの運用に関する考察と適用事例	（株）NIPPO 同 同	○小川 亮太 大西 秀樹 相田 尚
3033	施工継ぎ目部の品質向上に着目した施工方法に関する報告	鹿島道路（株） 同 同	○尾崎 風香 五伝木 一 平藤 雅也
3034	加速度応答解析技術を活用した舗装の品質向上に関する取組	国土交通省 松江国道事務所 同	○庄司 華蓮 足立 正樹

6 日	706	13:00 ~ 14:45
-----	-----	---------------

① 舗装における DX IT による施工管理・出来型管理①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3035	DX を活用した簡易路面点検技術	福田道路（株） （株）インフラ・ディープサーベイ／新潟大学 福田道路（株）	○粕谷 一明 中村 亮太 田口 仁
3036	建設機械搭載型レーザスキャナの舗装修繕工への適用に向けた検討	前田道路（株） 法政大学 三菱電機エンジニアリング（株）	○古賀 洋平 今井 龍一 西田 大輔
3037	舗装工事における 3 次元点群データの有効活用事例	奥村組土木興業（株） 国土交通省 紀南河川国道事務所	○前田 幸孝 岸本 光正
3038	能登国道舗装復旧工事における 3 次元測量データ活用事例	世紀東急工業（株）	○呉 澤南
3039	施工履歴データを用いた ICT 舗装（修繕工）の施工事例	国土交通省 徳島河川国道事務所 （株）NIPPO 同	○東條 眞吾 門田 幸介 高畑 浩二
3040	高速道路における 3 次元計測技術を活用した出来形管理の試行	中日本高速道路（株） 同 同	○大持 潤平 田中 裕太 中村 佳樹
3041	GIS を活用した点群データに基づく歩道路面性状の定量的評価	北見工業大学 大学院 北見工業大学 大林道路（株）	○盛 祥平 富山 和也 森石 一志

6 日	601	15:15 ~ 17:00	※集中討議セッション
-----	-----	---------------	------------

「舗装メンテナンスの新たなプラットフォームの構築」～異分野連携 WG からの提言～

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
		（株）オリエンタルコンサルタンツ	植田 知孝
		（株）NIPPO	三浦 真紀
3042	舗装管理に関するこれまでの取り組み	大林道路（株）	○久保 和幸
3043	恵庭市における舗装維持管理の現状と課題	恵庭市	○須藤 滉平
3044	道路舗装会社としての包括的民間委託及び道路維持管理に関する取組み	前田道路（株）	○守安 弘周
3045	市民協働アプリプラットフォーム「My City Report for citizens」の運用における課題と解決提案	（株）アーバンエクステクノロジーズ	○前田 紘弥
3046	車両データを活用した道路インフラ維持管理の効率化に関する検討	トヨタ自動車（株）	○櫻井 新

6 日	604	15:15 ~ 17:00
-----	-----	---------------

⑤異分野・他業種との連携 太陽光・給電・景観舗装

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3047	再生骨材を使用した自然石景観舗装の開発	前田道路（株） 土浦市 前田道路（株）	○尾前 海渡 齋藤 一裕 三田 幸咲
3048	路面太陽光発電システムの開発	大林道路（株） 同 早水電機工業（株）	○石川 義人 光谷 修平 吉田 由加理
3049	社会実装に向けた路面太陽光発電技術の検討（提案型）	（株）NIPPO トヨタ自動車（株） 同	○鍛冶 哲理 平子 貴大 永島 淳貴
3050	無線給電道路の耐久性評価および走行中給電に関する検討	大成ロテック（株） 同 大成建設（株）	○久野 晃弘 平 健太郎 新藤 竹文
3051	東京タワーにおける蓄光骨材を使用したアスファルト舗装による改修	鹿島道路（株） 同 同	○近藤 健一 二上 吉裕 久保田 智大
3052	土系舗装の耐久性向上に関する検討	前田道路（株） 同 同	○三田 幸咲 本間 美岬 芹田 美佳
3053	インターロッキングブロック舗装におけるRC-10の有効利用に関する検討	（株）NIPPO 東京農業大学 （株）NIPPO	○青木 涼佑 竹内 康 渡貫 辰彦

6 日	605	15:15 ~ 17:00
-----	-----	---------------

③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3054	舗装修繕設計の取組事例	国土交通省 松山河川国道事務所 同 同	○宮本 英輝 菅 秋行 泉 陽彩
3055	50年間のライフサイクルコストを考慮した舗装修繕設計	国土交通省 福岡国道事務所 同 同	○沓脱 美和子 相島 伸行 古賀 健作
3056	積雪寒冷地における普通コンクリート舗装の防錆対策について	国土交通省 室蘭開発建設部 (国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同	○滝沢 真吾 上野 千草 大場 啓汰
3057	人造黒鉛を添加したコンクリートを用いた無散水融雪舗装の車道適用に関する実証実験：初年度冬季における融雪状況	信州大学 東日本高速道路（株） ニチレキ（株）	○河村 隆 岸田 正博 奥田 浩二
3058	積雪寒冷地の舗装修繕工事におけるコンポジット舗装の適用事例	国土交通省 三次河川国道事務所 同	○木村 祐介 西條 健一
3059	コンクリート舗装採用による長寿命化・LCC低減に向けての取り組み	国土交通省 沼津河川国道事務所 国土交通省 津河川国道事務所	○村田 雄大 下方 陽平
3060	資源消費・廃棄物利用を考慮した舗装の環境影響評価に関する検討	(国研) 土木研究所 同 同	○七尾 舞 山原 詩織 川上 篤史

6 日	606	15:15 ~ 17:00
-----	-----	---------------

②環境に配慮した舗装 中温化・フォームド技術②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3061	中温化技術に対応したプラントミックス型アスファルト改質剤の検討	大有建設（株） 同	○安藤 友宏 鈴木 樹仁
3062	施工温度の低温化を目指したエコロジカルアスファルト混合物の開発	日本道路（株） 同 築野オレオケミカルズ（株）	○黒毛利 信自 立花 徳啓 山本 弥
3063	首都高速道路の土工部における初期わだち対策に適用する低炭素アスファルトⅢ型-W145（PRE+MF）の開発	ニチレキグループ（株） 首都高速道路（株） 同	○田村 祐二 蔵治 賢太郎 須田 郁慧
3064	フォームド発生装置による中温化合材のCO ₂ 削減効果	鹿島道路（株） 同 同	○武田 維麻 腰丸 涼一 石川 春希
3065	中温化混合物による施工時間短縮の理論的・実証的アプローチ	中日本高速道路（株） 同 （株）NIPPO	○青山 開 岩吹 啓史 高濱 泰秀
3066	機械式フォームド中温化混合物の高速道路適用に向けた検討事例	（株）NIPPO 東日本高速道路（株） 同	○文 常準 中村 太一 大場 陸
3067	高弾性上層路盤用混合物（HiMA）の初期わだち対策としての機械式フォームド装置による中温化への適用	前田道路（株） 東日本高速道路（株） 同	○河合 真邦 生田 憲司 湯本 光

6 日	705	15:15 ~ 17:00
-----	-----	---------------

②環境に配慮した舗装 植物由来の材料

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3068	植物由来成分「リグニン」のアスファルト代替材料への適用性検討	大成ロテック（株） 同 同	○中尾 信之 相川 宗 青木 政樹
3069	植物性高針入度アスファルトを用いた再生混合物の基礎検討	大有建設（株） 同	○村上 友規 長崎 洋
3070	天然・植物由来バインダを用いた混合物のリサイクル適性に関する検討	日本道路（株） 同 同	○青江 悠李 青柳 佳祐 藤井 洋志
3071	植物由来の再生用添加剤を用いた 100% 再生混合物の検討	東亜道路工業（株） 同 同	○大谷 健 佐々木 亮太 松井 伸頼
3072	環境負荷低減に寄与した天然・植物由来バインダを用いた混合物の実用性評価	日本道路（株） 同 (国研) 土木研究所	○青柳 佳祐 藤井 洋志 百武 壮
3073	植物系再生用添加剤を用いた再生アスファルト混合物 100% の混合物性状と構内試験施工結果	世紀東急工業（株） 同 同	○吉野 敏弘 ラオタ ラジナル MEI MEI HSAN
3074	廃食油精製オイルの天然素材明色バインダへの適用性検討	日進化成（株） 同 同	○時實 健祐 小柳 智子 櫻井 博章

6 日	706	15:15 ～ 17:00
-----	-----	---------------

① 舗装における DX AI による調査・点検・診断

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3075	画像認識 AI を用いた骨材の粒度推定技術に関する検討	前田道路（株） 同 同	○遠藤 紗希 平野 麻衣子 芹田 美佳
3076	車載カメラの走行動画から道路面の点群データ化検討について	北川ヒューテック（株） 同 同	○坂本 吉広 本間 圭一 櫛比 裕一
3077	長野県における新技術を用いた道路パトロール業務の効率化と舗装点検への活用事例	ニチレキ（株） 長野県 同	○碓 真悠 小宮山 秀一 金井 裕也
3078	AI を用いた都市高速道路における舗装路面のひび割れ自動検出技術の省力化効果の検証	内外構造（株） 同 法政大学	○中辻 悠太 名田 健人 今井 龍一
3079	高速道路舗装における機械学習を用いた上層路盤の損傷判別モデルの作成	（株）ネクスコ・エンジニアリング新潟 同 東日本高速道路（株）	○笠原 祐介 尾谷 力 秋本 哲朗
3080	画像認識 AI を用いた建設廃棄物の種類・重量推定システムの開発	関東学院大学 前田道路（株） 同	○鳥澤 一晃 土川 真一 倉持 健太
3081	エッジ AI 搭載機器による道路巡回の試行報告	（株）サイバーコア （株）オリエンタルコンサルタンツ （株）サイバーコア	○玉木 由浩 平山 美空 喬 金迪

6 日 707 15:15 ～ 17:00

① 舗装における DX IT による施工管理・出来型管理②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3082	運搬中アスファルト合材温度管理システムの開発	奥村組土木興業（株） 同 同	○徳島 朋典 檜原 康一 藤森 章記
3083	ローラ搭載型転圧温度モニタリングシステムの開発	世紀東急工業（株） 同	○木谷 寛 磯部 雅紀
3084	温度推論型転圧管理システムの開発と技術検証（提案型）	（株）NIPPO 同 同	○梶原 覚 相田 尚 門田 誠也
3085	アスファルト舗装の施工情報スマート管理・活用最大化（提案型）	（株）NIPPO 阪神高速道路（株）	○竹内 伸 前川 裕哉
3086	コンクリート舗装の施工情報スマート管理・活用最大化（提案型）	（株）NIPPO 同 同	○坂本 雄一 立花 洋平 竹内 伸
3087	舗装統合管理システムを用いて効率化と安全確保を両立した施工管理	鹿島道路（株） 国土交通省 能登復興事務所 鹿島道路（株）	○松下 憲昭 田中 義太郎 杉本 太一
3088	舗装補修工事における平坦性向上システム（SUPER-SKI）の導入事例	奥村組土木興業（株） 同 日本ゼム（株）	○梅田 惇 藤森 章記 吉田 秋星

6 日 708 15:15 ～ 17:00

④舗装の合理的な維持管理 表面処理・常温材料

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3089	路面機能を維持するプレミックス型フォグシール用乳剤の開発	東亜道路工業（株） 同	○田中 宏季 永原 篤
3090	経済性に配慮した生活道路の維持のための表面処理材料	ニチレキグループ（株） 同 同	○三澤 祥文 前川 亮太 平岡 富雄
3091	舗装の延命化に資する常温薄層表面処理材料のさらなる経済性向上	ニチレキグループ（株） 同 同	○王 斌輝 立川 亜瑞妃 平岡 富雄
3092	仮舗装の断裂防止に貼り付け型路面補修材を用いた事例と数値解析	鹿島道路（株） 同 同	○小野寺 範幸 磯崎 公太 一瀬 八洋
3093	交通負荷が発生する箇所における高耐久型常温合材の適用事例	鹿島道路（株） 同 同	○林 信也 木内 彬喬 五傳木 一
3094	常温アスファルト乳剤混合物の施工性及び貯蔵性に関する一検討	東亜道路工業（株） 同	○曲 慧 永原 篤
3095	再生常温アスファルト混合物の素材変更に関する一検討	（株）関電工 世紀東急工業（株）	○茅ノ間 恵美 村井 宏美

7 日 スバル 9:15 ～ 11:00

③舗装の長寿命化・国土強靱化 橋梁舗装技術・防水

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3096	山城大橋における改質ゲースアスファルトの施工事例	前田道路（株） 同	○大橋 風太 奥村 武
3097	ゲースアスファルト舗装用常温補修材の施工事例と供用性の評価	前田道路（株） 同 本四高速道路ブリッジエンジニア（株）	○信田 剛秀 小田 猛 松尾 卓也
3098	成型目地材を用いた舗装施工継目の止水対策に関する一検討	（国研）土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○大場 啓汰 上野 千草 丸山 記美雄
3099	コンクリート床版のゲースアスファルトに対応した端部防水層の適用（提案型）	中日本高速技術マーケティング（株） 同 日本特殊塗料（株）	○田中 敏弘 田中 邦幸 瀬戸山 拓
3100	プラントミックスタイプのバインダーを用いた新型 BLG の試験施工について	中日本高速道路（株） 大林道路（株）	○村上 翔大 野口 真早仁
3101	国道 7 号荒川橋の橋台背面部におけるリフレクションクラック抑制対策について	国土交通省 羽越河川国道事務所 同 同	○高野 大治郎 中村 学 西岡 昇
3102	脱着式伸縮装置の開発	大林道路（株） （株）横河 NS エンジニアリング 東亜道路工業（株）	○光谷 修平 松野 正見 平戸 利明

7 日	601	9:15 ~ 11:00
-----	-----	--------------

アスファルト舗装博覧会

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3103	アスファルト博覧会の企画について	北海道科学大学 同	○中村 博康 亀山 修一
3104	たわみ追従性に優れる特殊アスファルトを使用した薄層オーバーレイ工によるひび割れ抑制効果の実証実験	大成ロテック（株） 同 北海道科学大学	○相川 宗 青木 政樹 中村 博康
3105	積雪寒冷地における薄層舗装用アスファルト混合物の適用性	前田道路（株） 同 同	○畠山 慶吾 牛込 直樹 佐藤 修
3106	亀甲状ひび割れ上におけるオーバーレイ工法の効率的なひび割れ対策	東亜道路工業（株） 同 同	○松井 伸頼 佐々木 亮太 大谷 健
3107	薄層舗装材料の中温化における混合物性状と製造条件の確認	（株）NIPPO 同 北海道科学大学	○小田 雄貴 笠原 正孝 中村 博康
3108	長寿命化舗装用アスファルト混合物のひび割れ防止効果と施工報告	ニチレキ（株） 北海道科学大学 同	○内海 正徳 亀山 修一 中村 博康
3109	弾性バインダーを用いたひび割れ抑制舗装の性能検証	道路工業（株） 同	○大江 弘希 笹谷 晃

7 日 604 9:15 ~ 11:00

④舗装の合理的な維持管理 調査・試験方法①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3110	大規模な舗装路面における面的な調査方法の一検討	鹿島道路（株） 同 同	○曾田 浩司 橋本 剛志 富澤 健
3111	電磁波レーダの最大反射波解析を使った上層路盤の劣化と滞水の影響	西日本高速道路エンジニアリング中国（株） 同 （株）土木管理総合試験所	○太田 州 高砂 圭司 原 郁生
3112	非破壊調査によるレベリング層の層厚測定精度検証について	応用地質（株） 同 （株）ネクスコ東日本エンジニアリング	○青池 邦夫 赤松 洋介 七五三野 茂
3113	移動式電磁波密度計による面的密度管理手法に関する一考察	鹿島道路（株） 同 応用地質（株）	○國枝 峻介 伊東 蓮也 高橋 一徳
3114	自走式散乱型 RI ロボットによるアスファルト舗装の密度計測に関する検討	前田道路（株） （株）大林組 前田建設工業（株）	○谷地 鶴顕 松崎 晃 津田 啓史
3115	車輪式横断プロファイルメータの代替測定装置の検討	（一財）土木研究センター 同 日本道路（株）	○須藤 勇樹 寺田 剛 吉野 広一郎
3116	低騒音舗装等における RAC 車による路面騒音評価法に係る代替手法の検証	東京都 同 （公社）日本道路協会	○細田 修平 粉川 心介 寺田 剛

7 日 605 9:15 ~ 11:00

④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3117	As 舗装の理論的設計法における気温条件の設定に関する分析	(国研) 土木研究所 同 同	○重廣 和輝 田中 俊輔 渡邊 一弘
3118	高速道路における舗装短命箇所の新たな舗装構成の提案	西日本高速道路エンジニアリング九州(株) 同 西日本高速道路(株)	○廣松 南美 今村 旬吾 伊藤 亜季
3119	劣化予測に基づく高速道路舗装構造設計の実装に向けた検討	大阪大学 大学院 西日本高速道路(株) 大阪大学 大学院	○中崎 晴仁 中村 和博 笹井 晃太郎
3120	舗装の早期劣化箇所における詳細調査実施報告	国際航業(株) 同 ティーアール・コンサルタント(株)	○堀内 芳耶 高木 久 城本 政一
3121	舗装詳細調査と補修設計の取り組み	国土交通省 山形河川国道事務所 (株) オリエンタルコンサルタンツ ニチレキ(株)	○山火 健一 山岸 弘明 近松 稔之
3122	国道 42 号における詳細調査と舗装の長寿命化修繕設計	(株) スリーエスコンサルタンツ 国土交通省 紀南河川国道事務所	○池田 智也 坂野 峻介
3123	ECI 方式を活用した舗装修繕設計・工事「舗装 ECI」の事例報告	国土交通省 長岡国道事務所 同 同	○石附 倅太 林 正樹 上坂 直泰

7 日 606 9:15 ~ 11:00

③舗装の長寿命化・国土強靱化 舗装の長寿命化・高耐久化①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3124	耐水性強化に資する新技術の空港滑走路への適用	出光興産（株） 関西エアポート（株） （株）NIPPO	○呉 悦樵 小野 祐資 片岡 翼
3125	阪神高速道路泉大津PAの大型車専用駐車場における重荷重用・高塑性変形抵抗性アスファルト混合物の施工事例	（株）NIPPO 阪神高速道路（株） ニチレキ（株）	○副島 勝互 福嶋 孝啓 小幡 範
3126	RTG 走行路への高耐久型アスファルト舗装の適用事例	鹿島道路（株） 阪神国際港湾（株） 鹿島道路（株）	○大迫 太加志 大西 剛史 井川 淳博
3127	アスファルト舗装の長寿命化を目的とした高強度混合物の開発	福田道路（株） 日進化成（株） （株）高速道路総合技術研究所	○畑山 良二 櫻井 博章 松野 純一
3128	高強度アスファルト混合物の超重交通路線への施工事例	世紀東急工業（株） 同 同	○堤 丈瑠 ミミ サン 村井 宏美
3129	特殊ポリマー改質アスファルトを用いた舗装の重交通路線での供用性評価	ニチレキ（株） ニチレキグループ（株） 日瀝道路（株）	○澤 智之 田村 祐二 松本 武志

7 日 705 9:15 ~ 11:00

②環境に配慮した舗装 プラスチックの活用

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3130	農業廃プラスチックを添加したアスファルト混合物の再生利用における材料特性	福岡大学 大学院 福岡大学 同	○四本 陸 佐藤 研一 藤川 拓朗
3131	廃プラスチックを活用したアスファルト代替に関する検討	ニチレキグループ（株） ニチレキ（株） 京都大学 大学院	○上野 貞治 和田 祐汰 蘆田 隆一
3132	廃プラスチックを活用した高耐久舗装用添加材の開発	鹿島道路（株） 同	○黒田 祐平 岩永 真和
3133	廃プラスチック入りアスファルト混合物の現場への導入事例	北川ヒューテック（株） 同	○西園 雄太 本間 圭一
3134	使用済PET変性ポリエステルによるアスファルトの耐候性改善検討	花王（株） 同	○橋本 良一 猪股 賢大
3135	廃PET由来のアスファルト改質材を用いた再生アスファルト混合物の開発と適用事例	（株）NIPPO 花王（株） （株）NIPPO	○高橋 優太 秋野 雄亮 西川 遥
3136	廃PETを利用した機能性SMAアスファルト混合物の開発と施工事例	日本道路（株） 花王（株） 日本道路（株）	○丸山 昌礼 猪股 賢大 川村 修

7 日 706 9:15 ~ 11:00

②環境に配慮した舗装 再生混合物

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3137	再生アスファルト混合物のひび割れ抵抗性の評価方法に関する一考察	前田道路（株） 同 同	○牛込 直樹 松本 大輔 大森 直樹
3138	再生骨材配合率 100% の再生アスファルト混合物の力学性状に関する一検討	前田道路（株） 同 同	○大森 直樹 牛込 直樹 松本 大輔
3139	基準外再生骨材と再生骨材配合率が繰り返し再生した再生アスファルト混合物の物性に及ぼす影響	大林道路（株） 同 長岡技術科学大学	○小林 靖明 米田 晴彦 高橋 修
3140	繰り返し再生したアスファルトおよびアスファルト混合物の幅広い温度域におけるひび割れ抵抗性の評価	（国研）土木研究所 同 同	○チャン タンニャット 新田 弘之 百武 壮
3141	松脂系アスファルト再生用添加剤の開発および舗装の長寿命化・環境負荷低減への可能性	ハリマ化成（株） 日本大学 （国研）土木研究所	○高谷 竜成 加納 陽輔 百武 壮
3142	松脂由来の再生用添加剤を用いた再生アスファルト混合物の検討	大林道路（株） 同 ハリマ化成（株）	○溝上 真央 小林 靖昭 高谷 竜成
3143	再生骨材のすりもみ処理による舗装発生材の利用拡大への取り組み	日本道路（株） 同 同	○森 剛二 池田 茜 浅井 友章

7 日 スバル 11:15 ~ 12:30

②環境に配慮した舗装 プラント技術・環境配慮技術

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3144	アスファルトプラント用バーナへのアンモニア燃料の利用開発	日工（株） 同	○宗像 元 田中 翔太
3145	アンモニアを燃料に利用したアスファルト混合物製造の実証実験	前田道路（株） 日工（株）	○土川 真一 田中 翔太
3146	アスファルト混合物製造におけるマイクロ波加熱技術の適用性についての検討	前田道路（株） 同 同	○宮下 直哉 高沢 浩則 ラッカ ラヤンボルヤン
3147	コンテナを用いたアスファルト混合物における保温時間の検討と展望	日工（株） 同 同	○溝渕 琳也 堀口 諒 河邊 真治
3148	アスファルトの安定供給に向けた課題	出光興産（株） 同 同	○遠西 智次 山本 真 辻 幸二

7 日	601	11:15 ~ 12:30
-----	-----	---------------

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）に関する取り組み①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3149	上層路盤を含めたアスファルト舗装の耐疲労性評価手法に関する基礎的検討	日本大学 大学院 ニチレキグループ（株） 日本大学	○牛込 連志郎 原田 霞 前島 拓
3150	アスファルト舗装の路盤浸水による損傷機構と対策に関する一検討	(国研) 土木研究所 大成ロテック（株） (国研) 土木研究所	○田中 俊輔 中尾 信之 渡邊 一弘
3151	電磁波レーダーによる舗装体の非破壊健全度評価に関する取組み	西日本高速道路エンジニアリング九州(株) 西日本高速道路（株） ジオ・サーチ（株）	○後藤 大貴 伊藤 亜季 小澤 幸雄
3152	電磁波レーダを用いたアスファルト舗装内部の損傷評価に関する研究	南丹市 東京農業大学 同	○徳岡 友秋 竹内 康 川名 太
3153	FWD たわみ特性による軽交通アスファルト舗装の粒状路盤の圧縮ひずみ評価法に関する研究	東京農業大学 大学院 東京農業大学 同	○大野 寛奈 竹内 康 川名 太

7 日	604	11:15 ~ 12:30
-----	-----	---------------

④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3154	プローブ情報を活用した長野県諏訪市における道路維持管理の効率化の取り組み	応用地質（株） 同 同	○壽山 美季 神田 広信 平田 諒次
3155	舗装点検データベースを活用したアスファルト舗装の早期劣化箇所抽出に関する取組み	国際航業（株） 東京農業大学 国際航業（株）	○酒井 智光 竹内 康 井上 浩一
3156	道路舗装長期保証制度 性能指標値による破損傾向分析	(一財) 国土技術研究センター 同 同	○藤村 万里子 金盛 隆 白尾 仁知
3157	事故リスクを考慮した LCC に基づく道路舗装の維持管理シナリオ検討	愛媛大学 同	○守屋 杏果 坪田 隆宏
3158	利用者の目線に立った歩道維持管理技術の試み	明石市 同 大林道路（株）	○鈴木 啓祐 樋口 一也 森石 一志

7 日 605 11:15 ～ 12:30

③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装 橋面舗装

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3159	長寿命化を目的としたポリプロピレン繊維補強コンクリート舗装の環境影響評価	奥村組土木興業（株） 近畿大学 神戸市立工業高等専門学校	○佐々木 庸志 東山 浩士 水越 陸視
3160	低価格・低弾性・低収縮な RC 床版上面増厚材料の開発と試験施工	首都高速道路（株） 同 （一財）首都高速道路技術センター	○須田 郁慧 蒲 和也 青木 聡
3161	ラテックス改質超速硬コンクリートによる橋面コンクリート舗装	ショーボンド建設（株） 同 静岡市	○薬師寺 輝 郭 度連 富田 樹
3162	橋面コンクリート舗装への浸透防水型薄層表面処理工法の適用事例	東亜道路工業（株） 同 （株）イノウエ	○園田 涼 横内 伸夫 井上 隆之
3163	道路橋 RC 床版の剛性回復による舗装の長寿命化（提案型）	（株）NIPPO 日本大学 同	○吉田 雅義 前島 拓 岩城 一郎

7 日 606 11:15 ～ 12:30

③舗装の長寿命化・国土強靱化 舗装の長寿命化・高耐久化②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3164	静岡県における舗装の長寿命化に向けた取り組み	静岡県 ニチレキ（株）	○長谷川 学 小池 武己
3165	アスファルト混合物の耐久性評価手法の検討～ひび割れ抵抗性の評価～	阪神高速道路（株） （一財）阪神高速先進技術研究所 阪神高速道路（株）	○吉田 龍平 新里 良輔 青木 康素
3166	特殊弾性ポリマー改質アスファルトの各層への適用性検討	昭和瀝青工業（株） 同	○今里 亮太 平松 真
3167	市道における高たわみ性ポリマー改質アスファルト舗装の適用事例	東亜道路工業（株） 同 鹿屋市	○渡邊 佑基 金重 俊弘 堀之内 友
3168	ひび割れ抵抗性に優れたアスファルト混合物による補修事例	東亜道路工業（株） 同	○渡邊 晃平 設楽 直柔

7 日 705 11:15 ~ 12:30

②環境に配慮した舗装 他分野素材のリサイクル

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3169	全天候型常温混合物が混入した現場発生材の再生利用に関する検討	(株) ガイアート 同	○山本 啓 館野 巴架
3170	電線被覆材廃材を用いたアスファルト混合物の性能評価	(株) NIPPO ENEOS (株) (国研) 土木研究所	○菊池 玲児 谷津 道寛 百武 壮
3171	太陽光パネルの廃ガラスを用いた光透過性混合物の検討	前田道路 (株) 同 同	○芹田 美佳 三田 幸咲 本間 美岬
3172	廃棄トナーと副生グリセリンを添加したアスファルト混合物の検討	東亜道路工業 (株) 同 同	○佐々木 亮太 大谷 健 松井 伸頼
3173	各種リサイクル材を骨材とするアスファルト舗装の混合物性能	ENEOS (株) 同 同	○高田 智至 小早川 尚之 谷津 道寛

7 日 706 11:15 ~ 12:30

③舗装の長寿命化・国土強靱化 路盤

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3174	再生砕石を用いたセメント安定処理路盤の施工事例	鹿島道路 (株) 同 西日本高速道路 (株)	○三浦 広己 内匠 信一 藤村 理功
3175	製鋼スラグを用いたモデル路盤の追跡調査結果	JFE スチール (株) JFE テクノリサーチ (株)	○加藤 裕介 市川 孝一
3176	環境配慮型安定処理路盤材の製造方法検討および施工報告	鹿島道路 (株) 名城大学 中原建設 (株)	○松井 拓磨 道正 泰弘 横田 翔太郎
3177	2024 年能登半島地震の復旧工事における穴水町での路上路盤再生工法の適用事例	ニチレキ (株) 穴水町 同	○沼田 政稔 橋本 樹慶 藤井 大之
3178	アスファルト層下面補強用ジオシンセティックスの施工方法について	北川ヒューテック (株) 前田工織産資 (株) 金沢工業大学	○大塚 祐太郎 松本 七保子 高橋 茂樹

7 日 601 13:15 ~ 14:45

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）に関する取り組み②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3179	路盤の圧縮ひずみに着目したアスファルト舗装の損傷と疲労の関連性評価	中日本高速道路（株） 東京農業大学 同	○岩崎 大 竹内 康 川名 太
3180	MWD への適用を考慮した As 混合物層平均温度推定式に関する一検討	（国研）土木研究所 寒地土木研究所 東京農業大学 国土交通省 国土技術政策総合研究所	○松本 第佑 竹内 康 若林 由弥
3181	移動式たわみ測定装置（MWD）における車両ピッチ方向のノイズ除去手法について	（国研）土木研究所 同 同	○根津 孝文 綾部 孝之 渡邊 一弘
3182	移動式たわみ測定装置（MWD）におけるレーザドップラ振動計の設置台数に関する検討	（国研）土木研究所 同 同	○綾部 孝之 根津 孝文 渡邊 一弘
3183	移動式たわみ測定装置（MWD）による路盤の簡易損傷評価手法の検討	東京農業大学 同 同	○吉野 恒星 竹内 康 川名 太
3184	舗装の維持管理の効率化・高度化への取り組みについて（北陸 SIP）	福田道路（株） 金沢工業大学 福田道路（株）	○田口 仁 高橋 茂樹 北添 慎吾

7 日 604 13:15 ~ 14:45

④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント③

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3185	大型コアを用いたアスファルト舗装の効果的・効率的な詳細設計・修繕設計についてその 1	国土交通省 関東道路メンテナンスセンター （株）オリエンタルコンサルタンツ	○山崎 大輝 篠山 瑞歩
3186	大型コアによる調査を行ったアスファルト舗装の詳細調査・修繕手法の提案 その 2	（株）オリエンタルコンサルタンツ 国土交通省 関東道路メンテナンスセンター （株）オリエンタルコンサルタンツ	○篠山 瑞歩 山崎 大輝 植田 知孝
3187	診断区分Ⅲ－2（早期劣化区間）における詳細調査の方法について	国土交通省 豊岡河川国道事務所	○井上 卓
3188	重交通道路における損傷状況に応じた舗装修繕設計	（株）オリエンタルコンサルタンツ 同 同	○加藤 洋司 植松 正和 藤岡 亮文
3189	国土交通省修繕設計業務における修繕工法の設計・施工事例	ニチレキ（株） 同 （株）オリエンタルコンサルタンツ	○和氣 瑛昌 神田 伸行 朝隈 竜也
3190	舗装修繕設計における舗装構成の見直し事例	内閣府 沖縄総合事務局 同	○大村 朝己 楠田 鉄一郎

7 日 605 13:15 ~ 14:45

③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装③

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3191	コンクリート舗装の版厚および路盤 K 値の違いが疲労設計ソフト SKY を用いた NC の疲労度に与える影響の検討	(一社) セメント協会 同 ニチレキ (株)	○伊藤 孝文 吉本 徹 亀田 昭一
3192	疲労ひび割れを考慮した連続鉄筋コンクリート舗装のライフサイクルコスト	(株) トクヤマ (一社) セメント協会 広島大学 大学院	○新見 龍男 吉本 徹 河合 研至
3193	コンクリート舗装のすべり抵抗性評価における路面テクスチャ指標に関する検討	(一社) セメント協会 東京都立大学 (国研) 土木研究所 寒地土木研究所	○泉尾 英文 上野 敦 上野 千草
3194	ダイヤモンドカッタによる表面研削工法施工後の路面供用性状と交通事故低減の効果に関する一考察	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同	○佐藤 圭洋 丸山 記美雄
3195	コンクリート床版の損傷形態の違いが局所振動試験結果に及ぼす影響に関する基礎的検討	(株) NIPPO 東北大学 大学院 日本大学	○渡邊 真一 内藤 英樹 前島 拓
3196	60 年を経過したアスファルト舗装に覆われたコンクリート舗装の振動・老朽化対策	国土交通省 大宮国道事務所 同 同	○塩野谷 謙 児玉 憲一 酒井 健

7 日 606 13:15 ~ 14:45

③舗装の長寿命化・国土強靱化 高耐久上層路盤

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3197	高弾性上層路盤用混合物専用バインダの開発	ニチレキグループ (株) 同 ニチレキ (株)	○陳 安寧 上野 貞治 和田 祐汰
3198	高速道路における高弾性上層路盤用混合物の厚層施工およびサイロ出荷の事例報告	日本道路 (株) 同 西日本高速道路 (株)	○高橋 秀典 渡部 賢 岡崎 風時
3199	高速道路の長寿命化に向けた高弾性上層路盤用混合物の施工性に関する検討	(株) ネクスコ・エンジニアリング新潟 同 東日本高速道路 (株)	○高嶋 冬依 石山 啄 常木 遥斗
3200	厚層施工を想定した高弾性上層路盤混合物 (HiMA) (30) の実路における検証	(株) NIPPO 西日本高速道路 (株) 同	○大住 隼斗 米良 友希 高田 克也
3201	高耐久性セメント・アスファルト乳剤安定処理路盤材の開発	ニチレキグループ (株) 同	○坂本 凌 飯高 裕之
3202	高耐久上層路盤 (HTAc) の施工事例および追跡調査報告	東亜道路工業 (株) 同	○杉山 亮 小河 浩幸

7 日	705	13:15 ~ 14:45
-----	-----	---------------

⑤異分野・他業種との連携 寒冷地舗装・新技術

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3203	断熱工法を用いた既設アスファルト舗装の凍上対策	国土交通省 北海道開発局 (国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同	○小貫 信幸 上野 千草 松本 第佑
3204	ポリマー改質アスファルト H 型 -F を用いた北海道型 SMA の試験施工	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同	○上野 千草 丸山 記美雄
3205	中山間地域への先端的サービス実装に向けた路面凍結推測システムの構築	鹿島道路 (株) 森ビル (株) 鹿島建設 (株)	○太田 康介 矢部 俊男 北垣 太郎
3206	適用箇所に応じた表面処理型凍結抑制舗装の施工事例と効果検証	前田道路 (株) 同	○高泉 彰宏 谷中 哲
3207	国道 12 号の多機能型排水性舗装における凍結抑制効果と耐久性	(株) ガイアート (株) エーティック 同	○齊藤 一之 瀬藤 潮二 神元 貴也
3208	道路利用者の視点に準拠した凍結抑制舗装の性能評価手法の提案	前田道路 (株) 同	○野本 真兵 谷中 哲

7 日	706	13:15 ~ 14:45
-----	-----	---------------

②環境に配慮した舗装 再生改質

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3209	再生したポリマー改質アスファルトの性状に関する基礎検討	(国研) 土木研究所 同 同	○安藤 秀行 百武 壮 新田 弘之
3210	再生改質アスファルト混合物の評価方法に関する基礎検討 (その 2)	(国研) 土木研究所 同 同	○横澤 直人 小林 翔汰 渡邊 一弘
3211	屋外曝露試験による再生改質アスファルト混合物の耐候性評価	(国研) 土木研究所 同 同	○小林 翔汰 横澤 直人 川上 篤史
3212	九州地域の再生骨材の利用拡大に向けた改質再生アスファルト混合物の基本特性	福岡大学 同 同	○古賀 千佳嗣 佐藤 研一 藤川 拓朗
3213	高再生率を可能とした再生改質アスファルト混合物の耐久性に関する検討	大有建設 (株) 同	○鈴木 樹仁 安藤 友宏
3214	便益を考慮した低炭素再生改質アスファルト混合物の設計提案	ニチレキ (株) 千葉ニチレキ (株)	○壁下 俊介 安井 由喜夫

7 日 601 15:00 ～ 16:15

④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント④

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3215	舗装の路面性状調査結果を用いた分析	国土交通省 中部技術事務所 (株) パスコ	○眞弓 英大 窪田 智則
3216	舗装詳細調査の事例について	国土交通省 札幌開発建設部 同 同	○西辻 慶一 安藤 彰 秋永 真司
3217	ひび割れ深さ推定手法を用いた舗装補修計画について	東日本高速道路 (株) (株) ネクスコ・エンジニアリング東北 同	○齊藤 邦和 石井 完 今 雅司
3218	舗装修繕における詳細調査から修繕設計・施工の取組	国土交通省 金沢河川国道事務所 同 同	○青山 築 辻野 清史 北村 侑晟
3219	地方自治体の舗装修繕における路面性状評価と構造評価の統合的アプローチ	(株) オリエンタルコンサルタンツ 同 同	○黒澤 孝平 森 飛翔 植田 知孝

7 日 604 15:00 ～ 16:15

④舗装の合理的な維持管理 舗装マネジメント⑤

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3220	MWD たわみ量データを活用した舗装管理に関する一検討	東亜道路工業 (株) 孺恋村 東亜道路工業 (株)	○梅田 隼 松本 朋也 永井 佑弥
3221	舗装管理における現状把握方法に関する一案	(一財) 国土技術研究センター 同 同	○金盛 隆 藤村 万里子 白尾 仁知
3222	英国における道路診断技術に関する日本での適用性評価	日本道路 (株) 同 清水建設 (株)	○吉野 広一郎 常松 直志 加藤 大輔
3223	青果物の輸送損傷予測モデルの構築 —道路路面性状と荷台振動特性の関連性— (2)	大成ロテック (株) 千葉大学 岐阜大学 大学院	○木村 謙介 椎名 武夫 中野 浩平

7 日	605	15:00 ～ 16:15
-----	-----	---------------

③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装④

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3224	粗面仕上げの均一化を目的とした取組み事例	前田道路（株） 前田建設工業（株）	○増田 寛之 南 健次郎
3225	コンクリート舗装の路面テクスチャ測定における転写材の適用性	住友大阪セメント（株） 東京都立大学 日本道路（株）	○遠藤 大樹 上野 敦 藤井 洋志
3226	高速道路におけるコンクリート舗装版の劣化状況に関する一考察	（株）ネクスコ・エンジニアリング新潟 同 金沢工業大学	○荒川 涼 西脇 天太 高橋 茂樹
3227	ダウエルバーとコンクリートとの接触部の変状発生に関する基礎的検討	（一社）セメント協会 同 東京農業大学	○中村 弘典 吉本 徹 小梁川 雅

7 日	606	15:00 ～ 16:15
-----	-----	---------------

③舗装の長寿命化・国土強靱化 舗装の長寿命化・高耐久化③

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3228	直轄国道における小粒径ポーラスアスファルト舗装の適用事例と環境負荷軽減効果の検証	ニチレキグループ（株） ニチレキ（株） ニチレキグループ（株）	○齋藤 賢人 後藤 洋平 上野 貞治
3229	エコセーフ舗装と高機能舗装の供用7年後の性能と状態	首都高速道路（株）	○牧山 大祐
3230	アスファルト安定処理層の損傷に着目した実大載荷試験の中間報告	（国研）土木研究所 同 同	○穂満 直樹 田中 俊輔 渡邊 一弘
3231	非食用米由来バイオマスプラスチックを利用した高耐久アスファルト混合物の開発	日本大学 大学院 大林道路（株） （株）ライスレジン	○高橋 遼太郎 下館 満葉 奥田 真司
3232	非食用米由来プラスチックの規格外品を利用した高耐久アスファルト混合物の耐水性評価	大林道路（株） 日本大学 （国研）土木研究所	○下館 満葉 前島 拓 百武 壮

7 日 607 15:00 ~ 16:15

③舗装の長寿命化・国土強靱化 コンクリート舗装⑤

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3233	磐越道における CRCP 補修への長寿命化混合物の適用事例	大成ロテック（株） 東日本高速道路（株） 大成ロテック（株）	○小栗 直幸 柿沼 大輝 上堂蘭 研太
3234	応急補修工法で再補修したコンクリート舗装の補修効果について	世紀東急工業（株） 同 （国研）土木研究所	○奥澤 祐太 原 毅 綾部 孝之
3235	CO ₂ 固定化コンクリート舗装の各種物性と炭酸化養生条件に関する一検討	鹿島道路（株） 同 同	○ダオ テイフオン 関 健吾 坂井 吾郎
3236	炭酸化再生骨材を活用した CO ₂ 削減型車道用コンクリート舗装の現場適用性の検討	日本道路（株） 大阪兵庫生コンクリート工業組合（株）安藤・間	○弓木 宏之 船尾 孝好 白岩 誠史
3237	CO ₂ 吸収固定型ポーラスコンクリート舗装の実用化に向けた検討	日本道路（株） （株）安藤・間 灰孝小野田レミコン（株）	○藤井 洋志 鈴木 好幸 山内 和宏

7 日 704 15:00 ~ 16:15

④舗装の合理的な維持管理 調査・試験方法②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3238	色彩情報による再生骨材の旧アスファルト含有量の評価方法の開発	前田道路（株）	○岡 直樹
3239	光ファイバセンサを用いた道路舗装物性の季節変動評価	鹿島建設（株） 同 同	○藤原 航太郎 今井 道男 吉村 雄一
3241	半たわみ性舗装用注入材の開粒度アスファルトへの充填性評価方法に関する検討	住友大阪セメント（株） 同 （株）NIPPO	○伊藤 優太 安久 憲一 渡邊 真一
3241	コヒージョン試験機を用いた PKM-T のタイヤ付着性評価方法の検討	昭和瀝青工業（株） 同 同	○滝田 真世 森 俊八 上坂 憲一
3242	プライムコートの性能評価方法に関する共通試験に基づく検討	（一社）日本アスファルト乳剤協会	○谷中 哲

7 日 705 15:00 ~ 16:15

④舗装の合理的な維持管理 調査・試験方法③

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3243	アスファルト供試体浸透水の可視化に関する試み	明石工業高等専門学校 福田道路（株） 同	○鍋島 康之 北添 慎吾 畑山 良二
3244	応力の計測位置が Mr 試験の計測結果に及ぼす影響	日本大学 日本大学 大学院 日本大学	○山中 光一 平野 皓大 峯岸 邦夫
3246	局所振動試験によるアスファルト混合物層の弾性係数評価	日本大学 大学院 日本大学 (株) NIPPO	○張 晋軒 前島 拓 渡邊 真一
3246	100mm径供試体を用いた SCB 試験によるアスファルト混合物のひび割れ抵抗性能評価方法	近畿大学 同	○麓 隆行 測上 遥稀
3247	兵庫県内の道路から採取したコアの SPring-8 を用いた微視的検証と考察	京都大学 (国研) 理化学研究所 兵庫県	○瀬尾 彰 伊藤 裕文 首藤 充良

7 日 706 15:00 ~ 16:15

④舗装の合理的な維持管理 調査・試験方法④

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3248	HWT 試験におけるアスコンのはく離抵抗性評価に関する検討	(株) 高速道路総合技術研究所 同 同	○朴 希眞 江口 利幸 松本 大二郎
3249	路盤材料の違いがアスファルト舗装の力学的応答特性に及ぼす影響に関する一検討	東京ガスネットワーク（株） 東京農業大学	○小林 雅迪 竹内 康
3250	舗装の構造的な損傷と表面損傷状態の関係についての考察	国際航業（株） 同 同	○田島 朋樹 井上 浩一 畠山 陸
3251	貯水性および揚水機能を有した多機能舗装の路面温度低減効果	大林道路（株） 同 同	○掛札 さくら 茨木 浩一郎 藤井 秀夫
3252	AMeDAS データを用いた舗装内温度推定に関する基礎検討	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 石川工業高等専門学校	○山本 尚毅 若林 由弥 西澤 辰男

(3)-2 建設・施工技術（土工）部門

能登半島地震1 ※集中討議セッション……………	66	(4001～)
道路土工構造物技術基準・同解説の改訂 座談会 ※集中討議セッション……………	66	(——)
調査・計測……………	67	(4007～)
点検……………	67	(4013～)
降雨・水害……………	68	(4018～)
能登半島地震2……………	68	(4024～)
切土……………	69	(4030～)
盛土……………	69	(4035～)
地盤改良、土材料……………	70	(4040～)
擁壁・補強土壁1……………	70	(4046～)
軟弱地盤……………	71	(4052～)
擁壁・補強土壁2……………	71	(4058～)

(3)-2 建設・施工技術（土工）部門

6 日 スバル 12:45～15:00 ※集中討議セッション

能登半島地震 1

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4001	橋台背面部の盛土崩壊箇所の応急復旧事例	(株) 技研製作所 鹿島建設 (株) (株) 技研製作所	○西本 和真 神戸 隆幸 佐藤 慎一郎
4002	令和 6 年能登半島地震で被災した盛土構造に関する調査分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○雨宮 智久 桑原 正明
4003	令和 6 年能登半島地震における珠洲市大谷地区の斜面変状について	(国研) 土木研究所 同	○小寺 凌 矢島 良紀
4004	令和 6 年能登半島地震により被災した補強土壁 (その 1)	前田工織 (株) 同 同	○出島 圭祐 久保 哲也 辻 慎一郎
4005	令和 6 年能登半島地震によるアンカー補強土壁の被災形態の再現解析	岡三リビック (株) 同 同	○林 豪人 小浪 岳治 伊藤 友哉
4006	令和 6 年能登半島地震で被災したアンカー補強土壁の数値解析に基づく補強対策の提案	岡三リビック (株) 同 同	○小浪 岳治 林 豪人 伊藤 友哉
	能登復興事務所における道路の復興状況について	国土交通省 能登復興事務所	健名 政博

6 日 スバル 15:15～17:15 ※集中討議セッション

道路土工構造物技術基準・同解説の改訂 座談会

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
		アジア航測 (株) (道路土工委員会委員長) 高知大学 国土交通省 (国研) 土木研究所 (株) 高速道路総合技術研究所 基盤地盤コンサルタンツ (株)	塚田 幸広 笹原 克夫 近藤 弘嗣 宮武 裕昭 金田 和男 柳浦 良行

6 日	709	13:00 ~ 15:00
-----	-----	---------------

③調査・計測

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4007	崩壊要因分析に基づく中央自動車道切土のり面のリスク評価と予防保全の取り組み	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) 同 同	○岡戸 宏徳 西上 大二郎 山崎 充
4008	切土のり面に分布する東海層群の礫構成と崩壊リスクの関係	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) 同 同	○西上 大二郎 岡戸 宏徳 山崎 充
4009	野根安倉道路における地質リスク調査中間報告及び設計時の留意点について	国土交通省 土佐国道事務所 同 同	○宮下 大樹 山下 浩昌 成田 学
4010	机上調査による軟弱地盤深度の簡易な推定手法について	(国研) 土木研究所 同	○矢島 良紀 品川 俊介
4011	道路斜面の法枠工を対象とした3次元計測技術による出来形高さの面的評価	(公財) 滋賀県建設技術センター (株) 大翔 神戸市立工業高等専門学校	○竹内 信 吉田 翔太 鳥居 宣之
4012	PFI 事業におけるモバイル端末を活用した地上写真測量による業務効率化	大林道路 (株) 同 同	○田原 康平 横山 昂洋 佐藤 和也

6 日	709	15:15 ~ 17:00
-----	-----	---------------

④点検

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4013	衛星 SAR による道路防災カルテ点検の変状進行把握の適用性検証	日本工営 (株) 国土交通省 中国地方整備局	○天池 大樹 横川 倫之
4014	衛星 SAR データの活用による道路防災カルテ点検の省力化検討	日本工営 (株) 国土交通省 中国地方整備局	○西口 尚希 横川 倫之
4015	AI による法面のひび割れ抽出 車両型計測装置「Slope Copier」への適用事例	(株) リコー 同 同	○近清 なつみ 辰野 響 岩男 誠二
4016	特定道路土工構造物の1巡目の点検の分析 と今後の課題	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○玉那覇 聖芽 雨宮 智久 桑原 正明
4017	インタラクティブな土工点検データによる 健全性評価に向けた研究	アジア航測 (株) 同	○北村 啓太郎 手柴 沙和子

7 日	708	9:30 ~ 11:00
-----	-----	--------------

降雨・水害

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4018	近年の切土と盛土の崩壊と降水量との関係	(国研) 土木研究所 同 同	○中島 亮輔 宮下 千花 間渕 利明
4019	道路の機能に影響を与えた降雨による土砂災害の傾向分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○道永 光夫 桑原 正明
4020	事前通行規制基準の高度化を目指した道路用土砂災害警戒基準線の構築（提案型）	関西大学 同 関西大学 大学院	○宮崎 祐輔 宮崎 祐輔 森谷 将成
4021	小規模土石流による通行止め災害の発生要因の分析	大日コンサルタント（株） 同 同	○河合 亮典 石原 一輝 藤井 孝文
4022	河川隣接区間の道路土工構造物の被災リスクに関する調査分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 国土交通省 中部地方整備局	○幸 哲也 桑原 正明 大津 智明
4023	鋼管杭連続壁による河川に並行する道路の災害復旧事例	(株) 技研製作所 同	○田中 一徳 表 瀬那

7 日	709	9:30 ~ 11:00
-----	-----	--------------

能登半島地震2

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4024	4脚4輪走行式油圧ショベルの令和6年能登半島地震道路啓開現場での検証について	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○矢野 祥吾 杉谷 康弘 桐井 健一
4025	液状化による傾斜地の地盤流動を抑制する道路とその活用対策	(一財) 土木研究センター 同 同	○常田 賢一 駒延 勝広 土橋 聖賢
4026	道路盛土の耐震性向上のための天端補強工	前田工織（株） (一財) 土木研究センター	○伊藤 修二 常田 賢一
4027	添加率及び改良材の種類の異なる石灰改良土の締固め特性の比較	(国研) 土木研究所 東日本高速道路（株） 日本石灰協会	○宮下 千花 横田 聖哉 渡辺 忠明
4028	令和6年能登半島地震により被災した補強土壁（その2）	ジオテキスタイル補強土工法普及委員会 同 同	○久保 哲也 辻 慎一郎 明永 卓也
4029	2024年能登半島地震後の補強土壁の地盤調査と安定性評価	前田工織（株） (公財) 滋賀県建設技術センター 九州工業大学 大学院	○松本 優明 竹内 信 川尻 峻三

7 日 708 11:15 ~ 12:30

切土

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4030	ポケット式落石防護網の配置計画と性能照査	(株) シビル 同	○窪田 潤平 廣瀬 由紀子
4031	凍結融解による強度低下を考慮した切土のり面の安定解析	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同	○御厩敷 公平 山木 正彦
4032	八戸自動車道旧タイプグラウンドアンカー更新対策について	川崎地質 (株) 東日本高速道路 (株) (株) 千代田コンサルタント	○高梨 俊行 長尾 達也 小泉 幸夫
4033	グラウンドアンカーの飛出し防御装置の開発	(国研) 土木研究所 同 同	○近藤 益央 間渕 利明 長谷川 貴大
4034	写真測量を用いたグラウンドアンカー頭部状態の推定	(国研) 土木研究所 同 同	○長谷川 貴大 近藤 益央 間渕 利明

7 日 709 11:15 ~ 12:30

盛土

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4035	盛土内応答加速度を考慮したニューマーク法および簡易ニューマーク法の適用性向上	西日本高速道路エンジニアリング関西(株) (一財) 土木研究センター 五大開発 (株)	○三好 忠和 常田 賢一 木村 武雄
4036	異なる計測手法を用いた道路盛土での点群データの比較	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同	○深田 愛理 山木 正彦
4037	合成開口レーダーを用いた高速道路盛土における維持管理への活用検討	東日本高速道路 (株) 同 日本工営 (株)	○鎌田 幹広 三上 尚人 野間口 芳希
4038	分布型音響センシング (DAS) を活用した高速道路盛土のヘルスマニタリング	中日本高速道路 (株) 同 岐阜大学	○上野 慎也 藤岡 一頼 八嶋 厚
4039	メッシュシート被覆によるオオイタダリの生育抑制方法	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同	○佐藤 厚子 山木 正彦

7 日 708 13:15 ~ 14:45

地盤改良、土材料

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4040	サーキュラーエコノミーの推進に向けたエコセメントの地盤改良材としての適用性評価	日本道路（株） 同	○川畑 敦馬 藤井 洋志
4041	フライアッシュを添加した酸化マグネシウム系地盤改良材の検討	大林道路（株） 同	○佐藤 愛琉 藤井 秀夫
4042	気泡混合軽量盛土工法による橋台背面アプローチ部の耐震性確認解析	麻生フォームクリート（株） 同	○徳江 大 大川 正太郎
4043	EPS 軽量盛土工法へのリプレイサブル技術の適用	ヒロセ補強土（株） （株）エンバイン 岡三リビック（株）	○山口 恭平 山下 喜央 小浪 岳治
4044	室内試験によるアスファルト舗装発生材の盛土材料としての検討	（国研）土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○大日向 昭彦 山本 正彦 佐藤 厚子
4045	立体写真測量法による迅速な現場密度試験法（提案型）	基礎地盤コンサルタンツ（株） 同 同	○柳浦 良行 白井 康夫 武政 学

7 日 709 13:15 ~ 14:45

擁壁・補強土壁 1

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4046	控長を 35cm のまま大型化したブロック積擁壁を布積とする場合の構造上の留意点	（公社）全国土木コンクリートブロック協会 同 （国研）土木研究所	○尾崎 正樹 近藤 和仁 佐々木 亨
4047	遠心模型実験に基づく補強土壁の耐震性に関する検討	（国研）土木研究所 同 同	○佐々木 亨 澤松 俊寿 間瀬 利明
4048	帯鋼補強土壁における鉛直変位が生じた際の壁面材と補強材の接合部耐力の検証	（一社）日本テールアルメ協会 同 同	○友重 勇気 新田 武彦 志村 直紀
4049	盛土の沈下を想定したアンカー補強土壁の接合部の耐力検証実験	岡三リビック（株） 同 同	○伊藤 友哉 林 豪人 小浪 岳治
4050	帯鋼補強土壁における補強材の相互影響に関する検証	（一社）日本テールアルメ協会 同 同	○酒井 茂賀 志村 直紀 新田 武彦
4051	ジオグリッド補強土壁の鋼製枠に作用する土圧の評価	ジオテキスタイル補強土工法普及委員会 同 香川大学	○辻 慎一朗 久保 哲也 荒木 裕行

7 日	708	15:00 ~ 16:30
-----	-----	---------------

軟弱地盤

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4052	軟弱地盤地域における盛土による変状及び沈下状況	東日本高速道路（株） 同 （株）ネクスコ・エンジニアリング新潟	○服部 浩彦 本山 正樹 羽根田 和人
4053	軟弱地盤上のボックスカルバートの基礎地盤対策	国土交通省 釧路道路事務所 同 （株）ドーコン	○竹内 大悟 中津 稔 原 靖
4054	大川佐賀道路における壁式地盤改良工法の沈下特性	（一財）土木研究センター 国土交通省 有明海沿岸国道事務所 （一財）土木研究センター	○駒延 勝広 檜原 伸介 西川 剛一
4055	軟弱地盤上の拡幅盛土のための地盤改良が一期線盛土に与える影響の検討（遠心力模型実験）	日本工営（株） （国研）土木研究所 同	○上村 健太郎 川村 逸太 宮下 千花
4056	軟弱地盤上の拡幅盛土のための地盤改良が一期線盛土に与える影響の検討（再現解析）	（国研）土木研究所 同 日本工営（株）	○川村 逸太 宮下 千花 上村 健太郎
4057	泥炭性軟弱地盤上盛土に適した周辺地盤の変形予測手法に関する検討	（国研）土木研究所 寒地土木研究所 同	○橋本 聖 山木 正彦

7 日	709	15:00 ~ 16:15
-----	-----	---------------

擁壁・補強土壁 2

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4058	補強土壁における鋼製補強材の特異な腐食事例に関する要因の分析	（一社）日本テールアルメ協会 同	○新田 武彦 志村 直紀
4059	補強土壁における鋼製補強材の経年的な腐食減量の分析	（国研）土木研究所 同 同	○菊地 靖男 佐々木 亨 間渕 利明
4060	目視によるアンカー補強土壁の鋼材腐食調査	岡三リビック（株） 同 同	○岩崎 凌子 林 豪人 小浪 岳治
4061	スマートフォンの3次元測量アプリを活用したバイパス道路における補強土壁壁面傾斜の把握	（公財）滋賀県建設技術センター 同 滋賀県	○樋上 雄貴 竹内 信 寺田 裕人
4062	補強土壁維持管理の手引き（案）点検編の概要	（一社）日本テールアルメ協会 多数アンカー式補強土壁協会 ジオテキスタイル補強土工法普及委員会	○志村 直紀 林 豪人 久保 哲也

(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門

床版	73	(5001 ～)
構造	74	(5009 ～)
計画・施工	75	(5017 ～)
防食	76	(5025 ～)
設計	76	(5032 ～)
点検・調査	77	(5039 ～)
維持管理①	78	(5046 ～)
DX ①	78	(5053 ～)
維持管理②	79	(5058 ～)
非破壊検査	79	(5063 ～)
DX ②	80	(5069 ～)
技術開発①	80	(5075 ～)
道路橋示方書・同解説の改訂 ※集中討議セッション	80	(——)
技術開発②	81	(5081 ～)

(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門

6 日 607 13:00 ~ 15:00

床版

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5001	道路橋 RC 床版の土砂化の全国的な発生状況とその発生要因	(国研) 土木研究所 同 同	○七尾 雄作 小沢 拓弥 中村 英佑
5002	舗装走行実験場で施工した超緻密高強度繊維補強コンクリートの追跡調査結果	ニチレキグループ (株) J-ティフコム施工協会 (国研) 土木研究所	○山本 剛行 馬場 弘毅 川上 篤史
5003	超高性能繊維補強セメント系複合材料 (UHPFRC) を使用した床版上面増厚工の施工報告	中日本高速道路 (株) (株) 大林組 大林道路 (株)	○島田 敏英 青木 峻二 本間 順
5004	舗装修繕工事における AI による道路橋 RC 床版の内部欠陥探査手法	日本道路 (株) 富山県立大学 同	○長谷 啓司 内田 慎哉 館田 英里香
5005	マルコフ遷移モデル推計を用いた点検判定ランクの劣化予測について	(一財) 首都高速道路技術センター 同 首都高速道路 (株)	○小川 瑞生 斎藤 豪 東和田 真之
5006	床版防水 (グレードⅡ) の撤去方法の改善事例	鹿島道路 (株) 同 中日本高速道路 (株)	○竹村 紘子 佐藤 聡明 岩吹 啓史
5007	実施工を想定した環境負荷が高耐久型エポキシ系接着剤の付着性能に与える影響	鹿島道路 (株) 同 同	○木内 彬喬 一瀬 八洋 森 重和
5008	首都圏高速道路 6 車線区間における床版取替工事の施工方法について	中日本高速道路 (株) 同 同	○藤田 恭介 萩原 直樹 米田 貴紀

6 日	608	13:00 ～ 15:00
-----	-----	---------------

構造

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5009	輪荷重載荷シミュレーションによる鋼床版構造詳細の疲労耐久性評価	東京都立大学	○村越 潤
5010	鋼管矢板基礎の数値解析モデル作成のための現場計測	阪神高速道路（株） 同 同	○篠田 隆作 曾我 恭匡 五百木 竜也
5011	首都高既設橋梁の仮受け橋脚構造検討	首都高速道路（株） 鹿島建設（株） エム・エム ブリッジ（株）	○杉原 航平 尾原 鞠子 本山 潤一郎
5012	SBHS700 を用いたフィレットを有する鋼製橋脚隅角部のフランジの応力低減効果に関する実験的研究	名古屋高速道路公社 早稲田大学 名古屋工業大学	○大門 大 小野 潔 宮下 剛
5013	皿型高力ボルト摩擦接合継手での連結板現場皿型加工部の塗膜厚さがすべり強度に与える影響	阪神高速道路（株） 同 大阪公立大学	○橋本 悠 南條 耕平 山口 隆司
5014	高力ボルト摩擦接合部での変形支圧限界を考慮した設計法に関する一検討～設計合理化～	（一財）阪神高速先進技術研究所 同 阪神高速道路（株）	○中本 勇 赤松 伸祐 藤原 真幸
5015	地中部 F11T のボルト取替検討に関する基礎試験	首都高速道路（株） 同 （一財）首都高速道路技術センター	○石橋 正博 井上 潤 加藤 舜大
5016	道路標識（横梁）における疲労メカニズムの検証	（株）建設技術研究所 同 同	○佐藤 和樹 菊地 翔大 中野 隼登

6 日	708	13:00 ～ 15:00
-----	-----	---------------

計画・施工

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5017	豊崎 IC（仮称）オンランプ 陸上橋梁における上部構造の施工	阪神高速道路（株） 同 JFE エンジニアリング（株）	○滝川 遼 角 裕介 飯田 有一
5018	豊崎 IC（仮称）オンランプ 河川内橋梁における上部構造の施工	阪神高速道路（株） 同 JFE エンジニアリング（株）	○角 裕介 滝川 遼 飯田 有一
5019	夢洲南高架橋の架設について ～万博会場へのアクセスとなる高架橋整備～	大阪市	○小川 哲司
5020	河川内橋脚の急速・高度な施工技術～万博アクセスルート：豊崎 IC（仮称）～	阪神高速道路（株） 同 清水建設（株）	○玉置 脩人 角 裕介 井内 崇也
5021	環状第 4 号線整備事業における鉄道立体交差区間の施工	東京都 同 同	○吉田 晴人 楯 興広 樋口 秀典
5022	鋼（3+4）径間連続鋼床版箱桁橋の作業車レールが耐風性に与える影響	本州四国連絡高速道路（株） 同 同	○小見山 翔 貴志 友基 坂本 佳也
5023	地下函体上の既設鋼製基礎に対する大規模更新工事施工事例	阪神高速道路（株） 同	○小島 直也 中井 勉
5024	道路照明柱用基礎への铸铁製スパイラル杭の適用による施工効率化	ヒノデホールディングス（株） 日之出水道機器（株）	○黒川 貴大 烏山 悟史

6 日	607	15:15 ~ 17:00
-----	-----	---------------

防食

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5025	素地調整後の残存塩分が塗膜の耐久性に及ぼす影響の検討	(国研) 土木研究所 同	○船山 真里 富山 禎仁
5026	鋼床版箱桁橋における補修塗装の施工事例	鹿島道路 (株) 同 名古屋高速道路公社	○鶴見 沙耶香 岡部 俊幸 物永 佳己
5027	AFM-IR によるポリウレタン樹脂塗膜の紫外線劣化の評価	(国研) 土木研究所 同	○ウイント タンダー 富山 禎仁
5028	実橋環境で長期暴露された耐候性鋼材の腐食減耗量調査	国土交通省 国土技術政策総合研究所 (一社) 日本鉄鋼連盟 国土交通省 国土技術政策総合研究所	○福原 将吾 高木 優任 白戸 真大
5029	赤外線法による耐候性鋼材腐食評価の検討	西日本高速道路エンジニアリング四国 (株)	○藤田 大介
5030	腐食した鋼製排水管に対する応急補修材の開発	(一財) 首都高速道路技術センター 首都高速道路 (株)	○奥倉 大樹 野村 理樹
5031	飛来塩分環境下における溶融亜鉛アルミ合金めっきの 20 年暴露試験結果	東日本高速道路 (株) 同 同	○曾我部 敬介 西川 孝一 坂下 彩香

6 日	608	15:15 ~ 17:00
-----	-----	---------------

設計

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5032	RC アーチ橋における耐震補強設計	本州四国連絡高速道路 (株) 同 同	○西野 豊 貴志 友基 坂本 佳也
5033	鋼・コンクリート複合構造における橋の立体機能の確保に関する研究	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 (株) 富士ピー・エス	○矢野 峻規 白戸 真大 白石 悠希
5034	道路橋の性能評価における温度勾配荷重の検討	(株) 富士ピー・エス 国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○白石 悠希 矢野 峻規 白戸 真大
5035	鋼桁摩擦接合部でのウェブとフランジの協働作用に関する評価～設計合理化～	阪神高速道路 (株) 同 (一財) 阪神高速先進技術研究所	○藤原 眞幸 青木 康素 中本 勇
5036	都市高速道路供用下での橋梁改築による縦目地構造の解消	阪神高速道路 (株) 同	○木村 太郎 渡辺 真介
5037	鋼管矢板基礎の性能照査手法の確立に向けて～群杭の影響検討～	阪神高速道路 (株) 同 同	○出口 直輝 篠田 隆作 金澤 高宏
5038	ドイツアウトバーン等における橋梁の現状と展望	いであ (株)	○末岡 眞純

7 日	607	9:15 ~ 11:00
-----	-----	--------------

点検・調査

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5039	能登半島地震を経験した ASR 劣化橋梁の安全性評価のための遠隔モニタリングシステムの構築（提案型）	金沢大学 （株）国土開発センター 東京コンサルタンツ（株）	○深田 宰史 浦 修造 湊 俊彦
5040	ポリエチレン被覆ケーブル全長の状態把握	本四高速道路ブリッジエンジニア（株） 本州四国連絡高速道路（株） 同	○後藤 稜平 小原 誠 小坂 祐輔
5041	実橋梁を対象とした橋脚の洗掘に対する簡易点検技術の適用性	（国研）土木研究所 同 富山市	○竹崎 奏詠 西田 秀明 湯野 和樹
5042	洪水時に橋脚洗掘被災を受けた近年の被災事例に関する調査報告	（国研）土木研究所 同	○小関 博司 猪股 広典
5043	洗掘の点検に対するサブボトムプロファイラの適用性検証	（国研）土木研究所 同 同	○飯島 翔一 岡本 宗一郎 西田 秀明
5044	鋼床版現場溶接の内部きず発生傾向分析	（国研）土木研究所 （一財）港湾空港総合技術センター 東京都立大学	○高橋 実 町田 文孝 村越 潤
5045	スマートフォンによるケーブル張力測定システムの開発（テンションリーダー）	本四高速道路ブリッジエンジニア（株）	○二宮 仁司

7 日	608	9:15 ~ 11:00
-----	-----	--------------

維持管理①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5046	PC 床版橋の横締め鋼棒破断の実態と原因の調査	(株) 芙蓉コンサルタント MORI 研究所 西条市	○野上 武志 森 伸一郎 高瀬 匡人
5047	愛媛県西条市における横締め鋼棒の突出した PC 橋修繕の取り組み	西条市 同 同	○高瀬 匡人 高橋 勝利 高橋 啓吾
5048	横締め鋼棒破断が認められた PC 床版橋における破断・減肉に関する透過法と反射法による超音波試験	MORI 研究所 愛媛大学 大学院 (株) 芙蓉コンサルタント	○森 伸一郎 中畑 和之 野上 武史
5049	首都高速道路における PC グラウト充填状況調査手法の適用性検討	首都高速道路 (株) (一財) 首都高速道路技術センター	○井田 達郎 中溝 翔
5050	ポステン T 桁橋における外観変状とグラウト充填・PC 鋼材腐食状況	三井共同建設コンサルタント (株) 同 同	○別所 和希 西岡 秀祐 伊吹 武人
5051	PC グラウト再注入に関する充填性確保への取り組み	中日本高速道路 (株) 同 同	○山口 岳思 萩原 直樹 小野 聖久
5052	PC 構造物への可視性を有する剥落防止材料の視認性評価	首都高速道路 (株) 同 (一財) 首都高速道路技術センター	○野村 理樹 井田 達郎 中畝 将太

7 日	607	11:15 ~ 12:30
-----	-----	---------------

DX ①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5053	AR を用いた既設部材の内外両側の干渉確認方法に関する検討	(株) 横河ブリッジ 首都高速道路 (株) (株) 横河ブリッジ	○井上 裕介 朝日向 佑悟 百合野 博光
5054	可搬型のレーザスキャナを用いた橋梁下部工の補備測量の有用性検証	(株) トップライズ 法政大学 麗澤大学	○近藤 真史 今井 龍一 塚田 義典
5055	3次元点群測量を用いた河床洗掘状況調査	(株) アジア共同設計コンサルタント 同	○小池 雪絵 重信 哲郎
5056	局所洗掘抑制に効果的な河川橋脚 3次元形状の提案 ～3D プリンティング技術の活用に向けて～	東京大学 大学院 同 同	○渡邊 真一郎 森本 時生 渡邊 健治
5057	IoT センサーによる長期計測データの経年変化分析	(株) パスコ 同 同	○荒 洋造 渡辺 隆 岩崎 務

7 日 608 11:15 ~ 12:30

維持管理②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5058	ニールセンローゼ橋の吊り材損傷に伴う対策事例	三重県 同 (株) 長大	○廣田 良邦 萩 裕也 竹田 達也
5059	既設透光板（ポリカ板）の飛散落下防止対策	(一財) 首都高速道路技術センター 首都高速道路 (株) 同	○谷中 勇哉 野村 理樹 高付 亮太
5060	透明なコンクリートの表面保護及びはく落防止工の開発と供用状態のモニタリング	パシフィックコンサルタンツ (株) (株) エムビーエス 同	○小沼 恵太郎 高木 弘敬 赤波江 卓也
5061	定期点検で得られたデータを用いた鉄筋コンクリート高橋脚に生じている損傷の分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同	○西森 聖人 白戸 真大
5062	交通機能を維持した都市内ジャンクション部の橋梁更新計画	首都高速道路 (株) JFE エンジニアリング (株) 鹿島建設 (株)	○片山 智貴 佐藤 崇 岩崎 俊樹

7 日 スバル 13:15 ~ 14:45

非破壊検査

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5063	塩害環境下で供用されるコンクリート橋の非破壊塩分調査	(国研) 土木研究所 同 同	○桑野 仁成 吉田 英二 中村 英佑
5064	革新的塩分非破壊計測システム RANS- μ の実橋梁利用展開	(株) ランズビュー 同 オリエンタル白石 (株)	○若林 泰生 高村 正人 大石 龍太郎
5065	中性子ビームによる斜張橋ケーブル定着部の非破壊検査技術の確立に向けた基礎的研究	中日本高速道路 (株) 同 (国研) 理化学研究所	○市岡 隆興 三戸 隆宜 福地 知則
5066	電磁波レーダを用いた RC 床版上面の土砂化の調査手法の実橋検証	(国研) 土木研究所 同 同	○新倉 功也 山下 翔真 七尾 雄作
5067	3.95MeV 高出力 X 線源による PC 橋のグラウト充填調査	(株) ネクスコ・エンジニアリング新潟 東日本高速道路 (株) (株) アトックス	○岩持 成郁 西川 孝一 市村 健
5068	可搬型加速器 X 線源による X 線非破壊検査での画像処理の検討	東京大学 同	○神近 祐平 長谷川 秀一

7 日	607	13:15 ~ 14:45
-----	-----	---------------

DX②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5069	ドローン空撮による点群データを活用した 橋梁図面の復元	(株) エービーコンサルタント (株) 建設調査コンサルタント 同	○広瀬 知晃 定塚 賢次朗 佐賀 貴文
5070	UAV（無人航空機）を活用した橋梁点検	アジア航測（株） 同 同	○進藤 祐介 手塚 国夫 前田 吉則
5071	福岡高速道路における維持管理性向上への 取り組み～恒久足場施工における BIM/ CIM の活用～	福岡北九州高速道路公社	○千々和 辰訓
5072	大泉ジャンクション C ランプ第一橋にお ける 4D シミュレーション活用の報告	東日本高速道路（株） 同	○田村 晃一郎 成田 朋憲
5073	高速道路の橋梁上部工工事における持続可 能な BIM/CIM 利用	東日本高速道路（株） 同 同	○中村 雅範 山本 亜沙実 藤原 直哉
5074	淀川左岸線（2 期）建設事業における CIM モデルの作成について	阪神高速道路（株） 同 同	○児玉 圭 山名 宗之 越野 まやか

7 日	608	13:15 ~ 14:45
-----	-----	---------------

技術開発①

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5075	変形追従性に優れる埋設型伸縮装置の開発	ヒートロック工業（株） ニチレキ（株） ニチレキグループ（株）	○梅田 泰裕 後藤 洋平 田中 伸介
5076	可動支承の橋軸直角方向に適用可能な横変 位摩擦ダンパーの開発	(一財) 首都高速道路技術センター 首都高速道路（株） 青木あすなろ建設（株）	○山本 一貴 須田 郁慧 波田 雅也
5077	既設 BP-A 支承の挙動確認における簡易計 測手法検討	首都高速道路（株） 同 (一財) 首都高速道路技術センター	○前田 純輝 井上 潤 水谷 亮勝
5078	ダクティル鉄製ボルトレスタイプ低位置 照明取付支柱の開発	(株) 栗本鐵工所 同 同	○森本 皓一 森田 裕也 山本 雅之
5079	常設足場の構造分類と特徴	首都高速道路（株）	○高付 亮太
5080	床版防水層に発生するブリスタリングのメ カニズムに関する研究	ニチレキグループ（株） 日本大学 同	○永塚 竜也 前島 拓 岩城 一郎

7 日	スバル	15:00 ～ 16:15	※集中討議セッション
-----	-----	---------------	------------

道路橋示方書・同解説の改訂

7 日	608	15:00 ～ 16:15
-----	-----	---------------

技術開発②

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5081	東海地方の高速道路構造物におけるフライアッシュコンクリートの使用に向けた検討	中日本高速道路（株） （株）J E R A 中日本高速道路（株）	○牧田 通 松倉 隼人 三戸 隆宜
5082	フライアッシュコンクリートを用いた海上橋下部構造の耐久性追跡調査	（国研）土木研究所 同 同	○中村 浩士 中村 英佑 新倉 功也
5083	ジオポリマーコンクリートの加熱冷却後の常温時強度に関する研究	大阪工業大学 西日本高速（株） 大阪工業大学	○岡田 洸 吉田 拓人 今川 雄亮
5084	低温環境下での施工における樹脂系ひび割れ注入材の注入充填性に関する検討	（国研）土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○小中 隆範 内藤 勲 三原 慎弘
5085	発熱する和紙を用いた路面凍結抑制技術の開発	首都高速道路（株）	○佐野 優里奈

(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門

変状・耐震対策……………	83	(6001 ～)
点検・診断支援……………	84	(6008 ～)
近接施工……………	84	(6014 ～)
地山評価・斜面对策……………	85	(6020 ～)
盤ぶくれ ※集中討議セッション……………	85	(6024 ～)
設計・施工……………	86	(6028 ～)

(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門

6 日 609 13:00 ～ 15:00

変状・耐震対策

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
6001	山岳トンネル避難坑・換気坑変状部の補強 ランク評価と地質弱部の検出	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) 同 中日本高速道路（株）	○山崎 充 新家 正嗣 上野 慎也
6002	トンネル補修繊維シートに発生する変状の 発生位置に関する考察	(国研) 土木研究所 同 同	○高津 知也 森本 智 日下 敦
6003	目地部に設置した網状シート当て板工の耐 荷力特性に関する実験的考察	(国研) 土木研究所 同 同	○森本 智 高津 知也 日下 敦
6004	ロックボルト補強による崩壊抑制効果に関 する実験的考察	東京都立大学 同 同	○八木 達也 河田 皓介 砂金 伸治
6005	既設山岳トンネルにおける内面補強工の耐 震対策に関する解析的考察	東京都立大学 同 同	○栗野 真司 河田 皓介 砂金 伸治
6006	供用中トンネルにおける内巻補強工の施工 について	西日本高速道路（株） 同 (株) 大林組	○山本 拓哉 前田 佳克 石塚 拓海
6007	トンネル内車両火災により損傷したトンネ ル覆工への対応について	西日本高速道路（株） 同 同	○新藤 秀記 水野 希典 加藤 寛之

6 日	609	15:15 ～ 17:00
-----	-----	---------------

点検・診断支援

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
6008	道路トンネルにおける地質条件と変状の発生との関係性に関する検討	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○久保田 海帆 大崎 義保 藤田 智弘
6009	トンネル施工データに基づく盤ぶくれ発生区間の傾向分析	東京都立大学 同 同	○大森 瑞貴 砂金 伸治 河田 皓介
6010	トンネル覆工の境界条件と変状の兆候に関する数値解析による検討	(国研) 土木研究所 同	○小泉 悠 日下 敦
6011	トンネル覆工変状抽出に対する少数教師データ環境下での AI 判別検討	西日本高速道路エンジニアリング四国(株) 同	○井上 航 山下 民岐子
6012	トンネル覆工表面画像撮影システム「eQドクター T」の高度化への取組み	西日本高速道路エンジニアリング九州(株) 西日本高速道路 (株) NEXCO 西日本イノベーションズ(株)	○鷹木 航太 新藤 秀記 築山 彰
6013	メタバース技術を用いたトンネル点検結果共有への取組み	サンコーコンサルタント (株) 同 同	○三田 雄大 雪田 真吾 江川 真

7 日	609	9:30 ～ 11:00
-----	-----	--------------

近接施工

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
6014	小土かぶりで国道直下を通過する土砂地山トンネルの設計・施工	八千代エンジニアリング (株) 山梨県 芙蓉建設 (株)	○坂本 昇 森 留衣 三井 幸治
6015	蛇紋岩地山における 1 期線トンネルを考慮した 2 期線トンネルの離隔検討	(株) オリエンタルコンサルタンツ 東日本高速道路 (株) (株) オリエンタルコンサルタンツ	○野口 将志 山田 実典 西川 修
6016	供用中の高速道路下に構築する開削トンネル本体工の近接影響検討	阪神高速道路 (株) 同 清水建設 (株)	○渡邊 雅大 川澄 建司 白田 隆一郎
6017	橋脚施工に伴う周辺地山及び供用線トンネルへの影響検討～新名神高速道路 梶原トンネル工事～	西日本高速道路 (株) 同 清水建設 (株)	○國政 仁 石村 昌也 上仲 亮
6018	トンネル函体直下部への碎石層設置による透水性確保に向けた試験施工報告	阪神高速道路 (株) 同	○梶原 雄哉 安藤 高士
6019	供用している高速道路トンネルへの避難連絡坑接続における補強工事の実施	中日本高速道路 (株) (株) 高速道路総合技術研究所 中日本高速道路 (株)	○堀川 敬 鈴木 俊雄 海瀬 忍

7 日	609	11:15 ~ 12:30
-----	-----	---------------

地山評価・斜面对策

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
6020	トンネル坑口周辺の条件と斜面災害の発生との関係性に関する検討	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○藤原 茜 大崎 義保 藤田 智弘
6021	山岳トンネルの常時微動計測による振動特性の把握に関する一考察	東京都立大学 同 同	○河田 皓介 田村 夏海 砂金 伸治
6022	トンネルの地震時挙動に及ぼす垂直縫地の影響に関する検討	東京都立大学 同 同	○田村 夏海 河田 皓介 砂金 伸治
6023	垂直縫地における地山物性の影響に関する実験的考察	東京都立大学 (株) オリエンタルコンサルタンツ 東京都立大学	○高山 雄矢 舘林 祐人 砂金 伸治

7 日	609	13:15 ~ 14:45	※集中討議セッション
-----	-----	---------------	------------

盤ぶくれ

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
6024	表面波探査を用いた山岳トンネル内の盤膨れ補強対策範囲の効率的な抽出	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) 同 中日本高速道路(株)	○中村 純 鎌田 一男 上野 慎也
6025	新たな調査手法による盤ぶくれ対策範囲の検討	(株) 高速道路総合技術研究所 同 同	○増田 弘明 小林 康範 金藤 和慶
6026	盤ぶくれ変位量の簡易推定手法に関する一考察	(国研) 土木研究所	○蔭山 凌
6027	インバート補強工事におけるプレキャストブロックの試験導入について	東日本高速道路(株) 同 (株) 奥村組	○釜坂 大貴 花谷 仁志 蜂谷 真司

7 日	609	15:00 ～ 16:30
-----	-----	---------------

設計・施工

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
6028	沢と交差する小土被りトンネルの施工事例	中日本高速道路（株） 同 清水建設（株）	○小林 大助 石田 拓巳 長尾 裕貴
6029	山岳トンネルの変状の発生と施工時情報の関連性に関する考察	（国研）土木研究所 同 同	○菊地 浩貴 日下 敦 高津 知也
6030	覆工コンクリート打設管理用ロボットの開発	首都高技術（株） 首都高デジタル&デザイン（株） 大栄工機（株）	○布施 光弘 土田 康浩 坂田 晴紀
6031	地山の緩みを考慮したロックボルトの挙動メカニズムに関する検討	東京都立大学 大学院 同 同	○礒野 聖也 砂金 伸治 河田 皓介
6032	トンネルの力学的挙動に与える防水工と覆工コンクリート間の摩擦力に関する考察	東京都立大学 大学院 同 同	○伊藤 駿杜 河田 皓介 砂金 伸治
6033	トンネル内装の課題と対応	首都高速道路（株） 同	○西羅 瑛太 吉田 祥二

一般論文・事例報告発表

ポスターセッション

(1) 計画・環境・安全・情報・マネジメント部門

6 日 13:00 ～ 16:30

計画

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
1P01	物体検知 AI を活用した飽和交通流率の計測手法について（提案型）	（国研）土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○奥村 航太 四辻 裕文 中村 浩
1P02	茨城県大洗町における AI を活用した渋滞予測の検討	八千代エンジニアリング（株） ひたちなか大洗リゾート構想推進協議会 八千代エンジニアリング（株）	○村野 祐太郎 木名瀬 貴久 大久保 朔也

環境

1P03	エゾシカ衝突事故対策としての「シカ注意」路面標示の有効性評価	北見工業大学 同 帯広畜産大学	○宝寄山 颯太 富山 和也 浅利 裕伸
1P04	街路樹の変遷に関する一考察	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○久保田 小百合 小島 孝文 飯塚 康雄
1P05	道路空間においてグリーンインフラを实践する際の技術的留意事項 ～道路緑化及び雨水貯留浸透施設に着目して～	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○長浜 庸介 根津 佳樹 橋本 浩良
1P06	道路空間利活用に係る休憩施設の利用実態に関する一考察	国土交通省 国土技術政策総合研究所 同 同	○林 勇朔 長濱 庸介 橋本 浩良
1P07	光学衛星データを用いた高速道路周辺の樹木の生育評価手法の検討	（株）パスコ 東日本高速道路（株） （株）パスコ	○廣瀬 智之 鈴木 雄吾 木村 篤史
1P08	シーニックバイウェイ北海道 20 年のあゆみ	国土交通省 北海道開発局 同	○牧野 一輝 高橋 直之

安全

1P09	DX を活用した安全な通学空間管理	大成ロテック（株） 同 同	○エイ エイトウェ 平川 一成 タエス ネエイン
1P10	歩道空間の確保に配慮した偏心基礎の耐衝撃性ボラード	積水樹脂（株） 同	○吉村 真一 上原 健嗣
1P11	千住新橋（内回り）出口における後退対策の効果分析	首都高速道路（株） 同	○高橋 翼 南 航太
1P12	首都高 箱崎ロータリー信号機の撤去	首都高速道路（株） 同	○高島 知之 山岸 遥
1P13	機械除雪作業に配慮した生活道路の凸部・狭窄部の研究開発（提案型）	（国研）土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○四辻 裕文 奥村 航太 中村 浩

(2) 道路管理・道路構造物マネジメント部門**6 日 13:00 ～ 16:30**

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
2P01	吹雪時の道路上における視程の推定手法と予測システムの試作	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○武知 洋太 越國 一九 原田 裕介
2P02	深層学習を用いた路面すべり摩擦係数の2次元推定技術の開発	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○齊田 光 奥村 航太 中村 浩
2P03	湿雪雪崩に伴う土砂流出を生じた地区における融雪水量の調査事例	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 同 同	○岡崎 健治 川又 基人 吉野 恒平

(3)-1 建設・施工技術（舗装）部門**7 日 9:30 ～ 13:00**

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3P01	スマートフォンのLiDARを用いたポットホール補修支援アプリの開発	前田道路（株） 同 同	○伊藤 勇貴 郭 慶煥 野本 真兵
3P02	センターラインの視認性を損なわない透明止水テープの開発	福田道路（株） 同 積水化学工業（株）	○小柳 佳範 渡辺 直利 左近 崇晃
3P03	道路利用者の違いが舗装の要求性能に与える影響に関する一考察	(一財) 災害科学研究所 前田道路（株）	○原田 紹臣 越 健太郎
3P04	融雪施設における高熱伝導コンクリートの現場実装と製造手法の確立	東邦産業（株） 新潟太平洋生コン（株）	○美寺 寿人 浅野 宏
3P05	未利用木質バイオマスを活用した環境負荷低減に寄与するブロック舗装の開発	日本道路（株） 同 リソースフォレスト（株）	○小高 拓海 村井 永典 櫻木 大嗣
3P06	竹チップ舗装材の材料特性に及ぼす竹チップ乾燥過程の影響	福岡大学 大学院 福岡大学 同	○小方 勇輝 佐藤 研一 藤川 拓朗
3P07	再生用添加剤の種類が再生アスファルト混合物の品質に及ぼす影響	前田道路（株） 同 同	○鈴木 良幸 今井 亮介 長橋 佑真
3P08	防水性を高めたコンクリート床板用橋面舗装技術の開発	(国研) 土木研究所 同 (一財) 土木研究センター	○川上 篤史 藪 雅行 寺田 剛

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
3P09	水分硬化型常温アスファルト補修材の冬期作業性向上に関する検討	前田道路（株） 同 同	○今関 幹 牛込 直樹 畠山 慶吾
3P10	ポーラスアスファルト舗装の長寿命化、安全・快適性に寄与する取組事例	PRMS（パームス）工法協議会 同 同	○石丸 博庸 佐々木 隆博 藤井 政人
3P11	越流破堤に耐える粘り強い堤防舗装の実験的検証	立命館大学 同 同	○鮫島 隆貴 原田 紹臣 里深 好文
3P12	重交通路線での調整コンクリートの損傷調査と補修方法に関する一検討	ニチレキ（株） 同 川崎市	○金子 恵理菜 丸山 陽 山村 彩恵
3P13	道路舗装による地域課題解決とサーキュラーエコノミーモデル報告	大成ロテック（株） 同	○渡邊 清隆 榊田 孝太
3P14	アスファルトフィニッシュ遠隔操作・自動操舵技術の開発と現場検証	世紀東急工業（株） 同 同	○竹内 海歩 板東 芳博 磯部 雅紀
3P15	地上型レーザースキャナと小型ドローンの併用による三次元データの取得と路面性状調査への適用事例	前田道路（株） （株）エムアールサポート 前田道路（株）	○市岡 孝夫 草木 茂雅 濱川 昂大
3P16	特殊弾力性アスファルトを用いた高耐久型薄層 SMA の 5 年後の供用性能と膨張・収縮特性に関する検討	（株）NIPPO 同 同	○尾田 崇馬 室井 和也 福田 知勇
3P17	使用済 PET 製漁網の舗装材を利用した環境配慮型アスファルト混合物の適用事例	日本道路（株） 花王（株） 日本道路（株）	○平松 大銘 猪股 賢大 丸山 昌礼
3P18	寒冷地における電動ローラの稼働特性	（株）NIPPO 同	○石山 廣司 梶原 覚
3P19	令和 6 年度能登半島地震の復旧に対する取組みと MMS の適用事例	前田道路（株） 同 同	○森嶋 洋幸 菅井 誠朗 國本 貴誠
3P20	貼付け型ひび割れ補修材 PMR99 シリーズの性能評価	鹿島道路（株） 同 同	○野崎 佑樹 岩永 真和 大崎 弘
3P21	2025 年日本国際博覧会（未来社会ショーケース）における低炭素合材によるアスファルト舗装と展示	前田道路（株） アサヒ飲料（株） （公財）地球環境産業技術研究機構	○高橋 知 峯澤 和裕 出口 哲也
3P22	若手舗装技術者による「舗装未来ビジョン 2040」の提案	国土交通省 国土技術政策総合研究所	○若林 由弥
3P23	施工継ぎ目の止水対策について	ニチレキ（株） 同 同	○米田 遥一 吉見 栄起 近松 稔之

(3)-2 建設・施工技術（土工）部門**6 日 13:00 ～ 16:30**

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
4P01	道路際における螺旋型杭基礎を活用した新たな流木捕捉技術の開発（提案型）	日之出水道機器 京都大学 大学院 ヒロセ補強土（株）	○烏山 悟史 原田 紹臣 小西 成治
4P02	落石発生源を抽出するための航空レーザ測量データの解析処理方法	（株）パスコ 同 岡山大学 学術研究院	○井関 禎之 岩切 昭義 西山 哲
4P03	二重阻止面構造による高エネルギー吸収型落石防護柵	（株）ベルテクスコーポレーション 岡山大学 ベルテクス（株）	○大菅 崇之 西山 哲 都築 宗一郎

(3)-3 建設・施工技術（橋梁）部門**6 日 13:00 ～ 16:30**

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
5P01	中性子ビームによる斜張橋ケーブル定着部の現場非破壊計測に向けた滞水可視化の検討	（国研）理化学研究所 （公財）高速道路調査会 （国研）理化学研究所	○福地 知則 市岡 隆興 大竹 淑恵
5P02	偏心荷重が作用する RC スラブの疲労載荷試験	（国研）土木研究所	○林田 宏
5P03	車載レーザ測量システムデータの道路橋維持管理への応用	岡山大学 大学院 岡山大学 同	○三崎 貴雄 西山 哲 木本 和志

(3)-4 建設・施工技術（トンネル）部門**6 日 13:00 ～ 16:30**

論文番号	論文題目	勤務先	氏名
6P01	秋田自動車道 山内トンネル工事の施工における取組みについて	東日本高速道路（株） 同 同	○田口 博康 平野 務 吉川 正紘
6P02	大断面トンネルにおける覆工コンクリート有筋区間の点検効率化に向けた検討	（株）高速道路総合技術研究所 同 同	○酒井 大輔 金藤 和慶 鈴木 俊雄
6P03	トンネル避難行動に関する啓発活動について	（株）高速道路総合技術研究所 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京（株）	○鈴木 俊雄 中山 拓